

前 金	部 分 払
有	一 回

令 和 4 年 度
下 工 公 補 第 2 2 号

津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事設計書

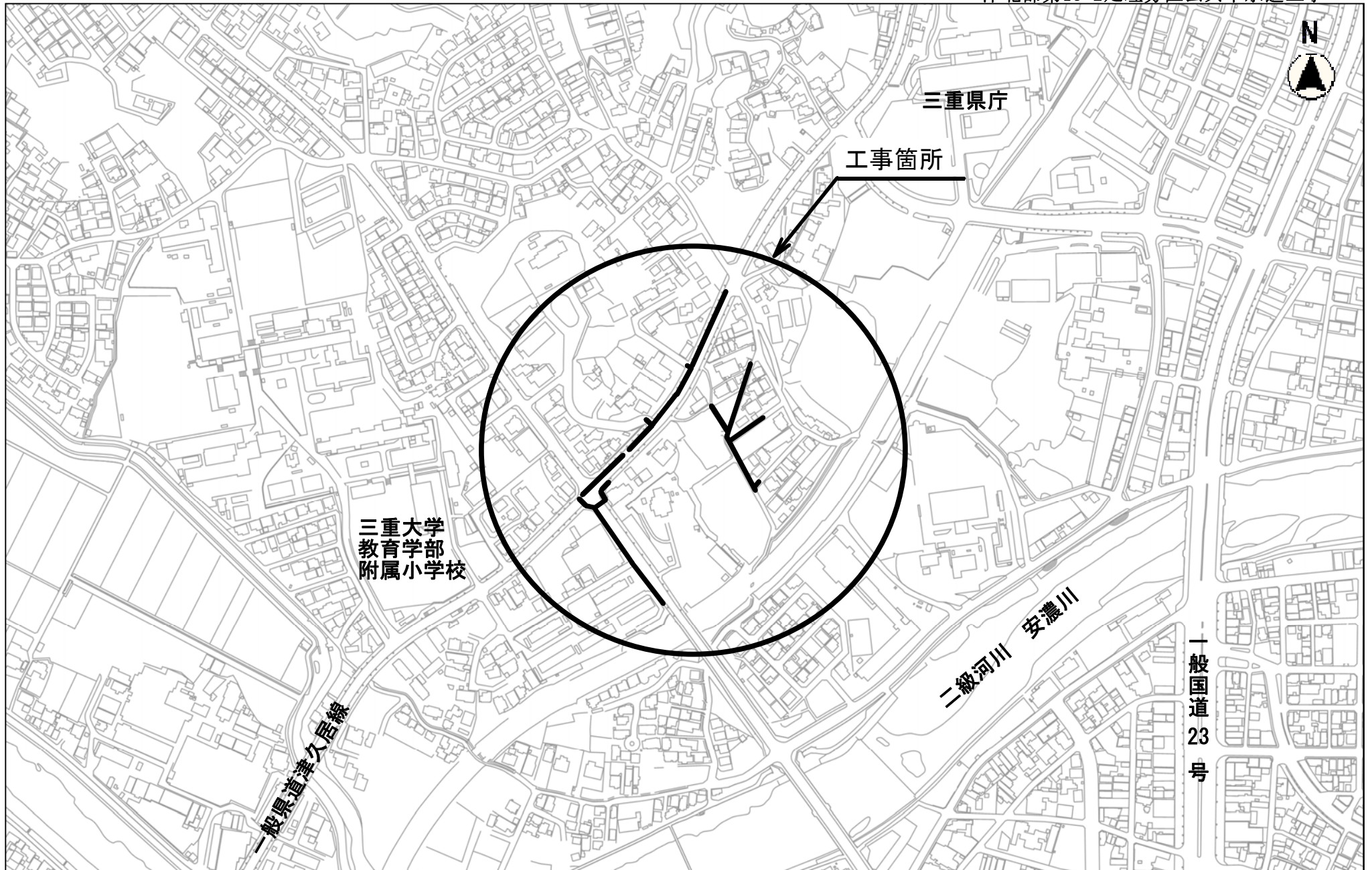
工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書
及 び 工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る 。

津 市
上 下 水 道 事 業 局 下 水 道 工 務 課

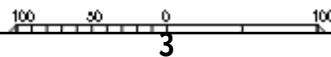
令和4年度		下工公補 第22号		工 事 設 計 書	
施工場所		津市鳥居町及び観音寺町地内		局長	
				次長	
工 事 名		津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事		課長	
				検 算 者	
設 計 額		(うち消費税等相当額)		調整担当主幹	
				担当主幹	
工 期		令和 5年 6月30日限り		担当副主幹	
				設 計 者	
長	—	巾	—		
工 事 の 大 要					
管布設工 (管径 150mm) 617 m 組立マンホール工 11 箇所 小型マンホール工 19 箇所 ます設置工 32 箇所					

位置図

令和4年度下工公補第22号
津北部第15-1処理分区及び
津北部第15-2処理分区公共下水道工事



縮尺 1 : 5000



工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路（補助）				式		1		
管きょ工(開削) (リブ管150mm) (昼間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		150		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		120		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		150		
管布設工				式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管			φ 150	m		65		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識7-7°			W=150 2倍	m		65		
継手類				式		1		
管基礎工				式		1		
碎石基礎			10m3以上	m3		20		
管路土留工				式		1		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 5m以下	m		12		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 5m以下	m		12		
軽量鋼矢板建込			掘削深3. 0m以下	m		56		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板引抜			掘削深3. 0m以下	m		56		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 5m	式		1		
軽量鋼矢板賃料			H=3. 0m	式		1		
土留支保(軽量金属支保) 設置			2段	m		68		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			2段	m		68		
支保材賃料(腹起し)				式		1		
支保材賃料(水圧式ハ゜イ゜サ゜-ト)				式		1		
支保材賃料(水圧サ゜ン)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次)山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		240		
管路埋戻			排対(2次)山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		160		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		240		
管布設工				式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管			φ 150	m		164		
埋設標識ケーシング			W=150 2倍	m		164		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
継手類				式		1		
管基礎工				式		1		
碎石基礎			10m3以上	m3		48		
管路土留工				式		1		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 0m以下	m		106		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 0m以下	m		106		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 5m以下	m		20		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 5m以下	m		20		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板賃料			H=2. 0m	式		1		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 5m	式		1		
軽量鋼矢板賃料			H=3. 0m	式		1		
土留支保(軽量金属支保) 設置			1段	m		106		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			1段	m		106		
土留支保(軽量金属支保) 設置			2段	m		20		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			2段	m		20		
支保材質料(腹起し)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
支保材賃料(水圧式ハイdraulic)				式		1		
支保材賃料(水圧ポンプ)				式		1		
マンホール工(昼間(8時間))				式		1		
組立マンホール工				式		1		
組立1号マンホール				式		1		
組立A1号マンホール				式		1		
小型マンホール工				式		1		
小型マンホール				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
マンホール工(夜間(8時間))				式		1		
組立マンホール工				式		1		
組立1号マンホール				式		1		
組立A1号マンホール				式		1		
内副管			飛散防止板	式		1		
小型マンホール工				式		1		
小型マンホール				式		1		
取付管およびます工(昼間(8時間))				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		7		
管路掘削			現場制約あり	m3		2		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		4		
管路埋戻			現場制約あり	m3		0. 8		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		7		
発生土処理			ダンプトラック 2t 積級	m3		1		
ます設置工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ます(塩ビ製)			ます径 200mm 5箇所以上	箇所		5		
取付管布設工				式		1		
取付管(塩ビ管)			管径 100mm 5箇所以上	箇所		5		
埋設標識 π - ϕ			W=150 2倍	m		12		
取付管およびます工(夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		40		
管路掘削			現場制約あり	m3		4		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		20		
管路埋戻			現場制約あり	m3		3		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		40		
発生土処理			ダンプトラック 2t 積級	m3		1		
ます設置工				式		1		
ます(塩ビ製)			ます径 200mm 5箇所以上	箇所		7		
取付管布設工				式		1		
取付管(塩ビ管)			管径 100mm 5箇所以上	箇所		7		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識7-7°			W=150 2倍	m		49		
付帯工(昼間(8時間))				式		1		
舗装撤去工(本復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚50mm	m		8		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		243		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		11		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		11		
舗装撤去工(仮復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚50mm	m		128		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		75		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		4		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		4		
舗装復旧工(本復旧)				式		1		
不陸整正			補足材有り; 補足材種類・規格再生クラン ヤーン RC- 40	m2		243		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		243		
舗装仮復旧工(仮復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
路盤			路盤材種類再生クラッシャー RC- 40; 仕上り厚220mm	m2		68		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		75		
付帯工(夜間(8時間))				式		1		
舗装撤去工(本復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚50mm	m		24		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		8		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		0. 4		
殻運搬			殻種別路面切削	m3		34		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		34		
特殊ブロック撤去			流用品	m2		6		
舗装撤去工(二次復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		353		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		278		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		20		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		20		
舗装撤去工(仮復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		391		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		178		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		18		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		18		
特殊ブロック撤去			流用品	m2		6		
管路土工(二次復旧)				式		1		
掘削			土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		50		
土砂等運搬				m3		50		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装復旧工(本復旧)				式		1		
不陸整正			補足材有り; 補足材種類・規格再生クラッシャー RC- 40	m2		15		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		36		
インターロッキングブロック撤去・再設置			流用品	m2		26		
特殊ブロック設置			流用品	m2		6		
切削オーバーレイ			平均切削深さ7cm以下; 舗設層一層; 段差すりつけ区分無; アスファルト材料種類(一層) 改質As	m2		670		
舗装目地復旧				m		335		
舗装復旧工(二次復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
不陸整正			補足材なし	m2		258		
上層路盤			路盤材種類再生粗粒調整碎石 RM- 30; 仕上り厚100mm	m2		278		
基層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		278		
表層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		242		
表層			材料種類再生改質アスファルト混合物(20); 舗装厚50mm	m2		36		
舗装仮復旧工(仮復旧)				式		1		
下層路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚290mm	m2		166		
路盤			路盤材種類粒度調整碎石 RM- 30; 仕上 り厚160mm	m2		15		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り厚220mm	m2		3		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		158		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		3		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		15		
特殊ブロック設置			流用品	m2		6		
区画線工				式		1		
溶融式区画線			施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分ゼブラ30cm; 塗布厚厚1. 5mm; 排水性舗装無し	m		3		
溶融式区画線			施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分矢印・記号・文字15cm換算; 塗布厚厚1 . 5mm; 排水性舗装無し	m		86		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
高視認性区画線				m		160		
仮設工(昼間(8時間))				式		1		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員			交通誘導警備員B	人日		53		
仮設工(夜間(8時間))				式		1		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員			交通誘導警備員B	人日		124		
直接工事費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
運搬費				式		1		
建設機械運搬費				式		1		
仮設材運搬費				式		1		
仮設材等積込み取卸し				式		1		
事業損失防止施設費				式		1		
家屋調査費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
技術管理費				式		1		
本管TV調査			昼間	m		65		
本管TV調査			夜間	m		164		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路（単独）				式		1		
管きょ工(開削) (リブ管150mm) (昼間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		140		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		80		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		140		
管布設工				式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管			φ 150	m		122		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識7-7°			W=150 2倍	m		122		
継手類				式		1		
管基礎工				式		1		
碎石基礎			10m3以上	m3		33		
管路土留工				式		1		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 5m以下	m		7		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 5m以下	m		7		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 5m	式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板賃料			H=3. 0m	式		1		
土留支保(軽量金属支保) 設置			2段	m		7		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			2段	m		7		
支保材質料(腹起し)				式		1		
支保材質料(水圧式ハイトサポ-ト)				式		1		
支保材質料(水圧ポ-ツ)				式		1		
管きょ工(開削) (リブ管150mm) (夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		50		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		20		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		50		
管布設工				式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管			φ 150	m		56		
埋設標識ケーブ			W=150 2倍	m		56		
継手類				式		1		
管基礎工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
砕石基礎			10m3以上	m3		15		
マンホール工(昼間(8時間))				式		1		
組立マンホール工				式		1		
組立1号マンホール				式		1		
組立A1マンホール				式		1		
内副管			飛散防止板	式		1		
小型マンホール工				式		1		
小型マンホール				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
マンホール工(夜間(8時間))				式		1		
組立マンホール工				式		1		
組立1号マンホール				式		1		
組立A1号マンホール				式		1		
内副管			飛散防止板	式		1		
小型マンホール工				式		1		
小型マンホール				式		1		
取付管およびます工(昼間(8時間))				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		10		
管路掘削			現場制約あり	m3		8		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		7		
管路埋戻			現場制約あり	m3		5		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		10		
発生土処理			ダンプトラック 2t 積級	m3		2		
ます設置工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分		下水道	
					工事区分		管路（単独）	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ます(塩ビ製)			ます径 200mm 5箇所以上	箇所		12		
取付管布設工				式		1		
取付管(塩ビ管)			管径 100mm 5箇所以上	箇所		10		
埋設標識 ^テ °			W=150 2倍	m		17		
取付管およびます工(夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		3		
管路掘削			現場制約あり	m3		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		1		
管路埋戻			現場制約あり	m3		0. 8		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		3		
発生土処理			ダンプトラック 2t 積級	m3		0. 4		
ます設置工				式		1		
ます(塩ビ製)			ます径 200mm 5箇所以上	箇所		2		
取付管布設工				式		1		
取付管(塩ビ管)			管径 100mm 5箇所以上	箇所		2		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識7-φ			W=150 2倍	m		5		
付帯工(昼間(8時間))				式		1		
舗装撤去工(本復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚50mm	m		21		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		505		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		23		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		23		
舗装撤去工(仮復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚50mm	m		283		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		113		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		6		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		6		
舗装復旧工(本復旧)				式		1		
不陸整正			補足材有り; 補足材種類・規格再生クラッシャーコンクリート RC- 40	m2		505		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13); 舗装厚50mm	m2		505		
舗装仮復旧工(仮復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り厚220mm	m2		112		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		113		
付帯工(夜間(8時間))				式		1		
舗装撤去工(本復旧)				式		1		
殻運搬			殻種別路面切削	m3		9		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		9		
舗装撤去工(二次復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		74		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		52		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		4		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		4		
舗装撤去工(仮復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		124		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		49		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		4		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		4		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土工(二次復旧)				式		1		
掘削			土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		9		
土砂等運搬				m3		9		
舗装復旧工(本復旧)				式		1		
切削オーバーレイ			平均切削深さ7cm以下; 舗設層一層; 段差すりつけ区分無; アスファルト材料種類(一層) 改質As	m2		178		
舗装目地復旧				m		94		
舗装復旧工(二次復旧)				式		1		
不陸整正			補足材なし	m2		52		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
上層路盤			路盤材種類再生粗粒調整碎石 RM- 30; 仕上り厚100mm	m2		52		
基層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		52		
表層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		52		
舗装仮復旧工(仮復旧)				式		1		
下層路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚290mm	m2		30		
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚220mm	m2		19		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		30		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		19		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
区画線工				式		1		
溶融式区画線			施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分矢印・記号・文字15cm換算; 塗布厚1.5mm; 排水性舗装無し	m		84		
高視認性区画線				m		26		
仮設工(昼間(8時間))				式		1		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員			交通誘導警備員B	人日		78		
仮設工(夜間(8時間))				式		1		
交通管理工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
交通誘導警備員			交通誘導警備員B	人日		66		
直接工事費				式		1		
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
事業損失防止施設費				式		1		
試掘調査			昼間 市道部	箇所		5		
試掘調査			夜間 県道部	箇所		17		
試掘調査			夜間 インターロッキング 部	箇所		4		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
家屋調査費				式		1		
役務費				式		1		
借地料				式		1		
技術管理費				式		1		
本管TV調査			昼間	m		122		
本管TV調査			夜間	m		56		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 1処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路（補助）				式		1		
管きょ工(開削) (リブ管150mm) (夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		120		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		70		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		120		
管布設工				式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管			φ 150	m		112		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識7-7°			W=150 2倍	m		112		
継手類				式		1		
管基礎工				式		1		
碎石基礎			10m3以上	m3		31		
管路土留工				式		1		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 0m以下	m		25		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 0m以下	m		25		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 5m以下	m		6		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 5m以下	m		6		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 0m	式		1		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 5m	式		1		
土留支保(軽量金属支保) 設置			1段	m		25		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			1段	m		25		
土留支保(軽量金属支保) 設置			2段	m		6		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			2段	m		6		
支保材質料(腹起し)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
支保材賃料(水圧式ハイポット)				式		1		
支保材賃料(水圧ポンプ)				式		1		
マンホール工(夜間(8時間))				式		1		
組立マンホール工				式		1		
組立1号マンホール				式		1		
内副管			飛散防止板	式		1		
小型マンホール工				式		1		
小型マンホール				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
取付管およびます工(夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		10		
管路掘削			現場制約あり	m3		2		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		6		
管路埋戻			現場制約あり	m3		1		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		10		
発生土処理			ダンプトラック 2t 積級	m3		0. 5		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ます設置工				式		1		
ます(塩ビ製)			ます径 200mm 5箇所以上	箇所		3		
取付管布設工				式		1		
取付管(塩ビ管)			管径 100mm 5箇所以上	箇所		3		
埋設標識7°			W=150 2倍	m		17		
付帯工(夜間(8時間))				式		1		
舗装撤去工(本復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚50mm	m		11		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		151		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		6		
殻運搬			殻種別路面切削	m3		5		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		11		
特殊ブロック撤去			流用品	m2		22		
舗装撤去工(二次復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		39		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		26		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		2		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		2		
舗装撤去工(仮復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		61		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		25		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		2		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		2		
特殊ブロック撤去			流用品	m2		22		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土工(二次復旧)				式		1		
掘削			土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		5		
土砂等運搬				m3		5		
舗装復旧工(本復旧)				式		1		
不陸整正			補足材有り; 補足材種類・規格再生クッション RC- 40	m2		172		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		89		
薄層カラー舗装				m2		103		
インターロッキングブロック撤去・再設置			流用品	m2		167		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15-2処理分区 補助対象工事) 津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
特殊ブロック設置			流用品	m2		22		
切削オーバーレイ			平均切削深さ7cm以下; 舗設層一層; 段差すりつけ区分無; アスファルト材料種類(一層) 改質As	m2		56		
切削オーバーレイ			平均切削深さ7cm以下; 舗設層一層; 段差すりつけ区分無; アスファルト材料種類(一層) 再生密粒As	m2		46		
舗装目地復旧				m		19		
舗装復旧工(二次復旧)				式		1		
不陸整正			補足材なし	m2		26		
上層路盤			路盤材種類再生粗粒調整碎石 RM- 30; 仕上り厚100mm	m2		12		
上層路盤			路盤材種類再生粗粒調整碎石 RM- 30; 仕上り厚150mm	m2		14		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
基層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		26		
表層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		26		
舗装仮復旧工(仮復旧)				式		1		
下層路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚290mm	m2		7		
下層路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚350mm	m2		8		
路盤			路盤材種類粒度調整碎石 RM- 30; 仕上 り厚160mm	m2		2		
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚160mm	m2		75		
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚100mm	m2		4		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り厚220mm	m2		12		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		15		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		12		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		62		
特殊ブロック設置			流用品	m2		22		
区画線工				式		1		
溶融式区画線			施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分実線15cm; 塗布厚厚1. 5mm; 排水性舗装無し	m		15		
仮設工(夜間(8時間))				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（補助）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員			交通誘導警備員B	人日		67		
直接工事費				式		1		
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
事業損失防止施設費				式		1		
家屋調査費				式		1		
技術管理費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
本管TV調査			夜間	m		112		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 補助対象工事)		当初		事業区分	下水道	
			津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事				工事区分	共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別			規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事費計					式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路（単独）				式		1		
管きょ工(開削) (リブ管150mm) (夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		120		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		70		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		120		
管布設工				式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管			φ 150	m		98		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識7-7°			W=150 2倍	m		98		
継手類				式		1		
管基礎工				式		1		
碎石基礎			10m3以上	m3		28		
管路土留工				式		1		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 0m以下	m		45		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 0m以下	m		45		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 5m	式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分		下水道	
					工事区分		管路（単独）	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板整備費			2班体制分	式		1		
土留支保(軽量金属支保) 設置			1段	m		45		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			1段	m		45		
支保材質料(腹起し)				式		1		
支保材質料(水圧式ハ イ° サ° ト)				式		1		
支保材質料(水圧ホ ン°)				式		1		
支保材基本料			2班体制分	式		1		
マンホール工(夜間(8時間))				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
組立マンホール工				式		1		
組立A1号マンホール				式		1		
内副管			飛散防止板	式		1		
小型マンホール工				式		1		
小型マンホール				式		1		
取付管およびます工(夜間(8時間))				式		1		
管路土工				式		1		
管路掘削			排対(2次)山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		20		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路掘削			現場制約あり	m3		3		
管路埋戻			排対(2次) 山積0. 28m3(平0. 2m3)	m3		9		
管路埋戻			現場制約あり	m3		2		
発生土処理			ダンプトラック 4t 積級	m3		20		
発生土処理			ダンプトラック 2t 積級	m3		0. 5		
ます設置工				式		1		
ます(塩ビ製)			ます径 200mm 5箇所以上	箇所		3		
取付管布設工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
取付管(塩ビ管)			管径 100mm 5箇所以上	箇所		3		
埋設標識 π -7°			W=150 2倍	m		19		
管路土留工				式		1		
軽量鋼矢板建込			掘削深2. 0m以下	m		6		
軽量鋼矢板引抜			掘削深2. 0m以下	m		6		
軽量鋼矢板賃料			H=2. 5m	式		1		
土留支保(軽量金属支保) 設置			1段	m		6		
土留支保(軽量金属支保) 撤去			1段	m		6		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
支保材賃料(腹起し)				式		1		
支保材賃料(水圧式ハ°イ°サ°ート)				式		1		
支保材賃料(水圧ホ°ソ°)				式		1		
付帯工(夜間(8時間))				式		1		
舗装撤去工(本復旧)				式		1		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚5cm	m2		29		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		0. 9		
殻運搬			殻種別路面切削	m3		26		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		27		
特殊ブロック撤去			流用品	m2		12		
舗装撤去工(二次復旧)				式		1		
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		134		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		98		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		7		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		7		
舗装撤去工(仮復旧)				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚100mm	m		134		
舗装版破碎			舗装版種別アスファルト舗装版; 舗装厚10cm	m2		62		
殻運搬			殻種別舗装版破碎	m3		6		
殻処分			殻種別アスファルト殻	m3		6		
特殊ブロック撤去			流用品	m2		12		
管路土工(二次復旧)				式		1		
掘削			土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		20		
土砂等運搬				m3		20		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装復旧工(本復旧)				式		1		
不陸整正			補足材有り; 補足材種類・規格再生クラッシャー RC- 40	m2		41		
薄層カラー舗装				m2		168		
インターロッキングブロック撤去・再設置			流用品	m2		65		
特殊ブロック設置			流用品	m2		12		
切削オーバーレイ			平均切削深さ7cm以下; 舗設層一層; 段差すりつけ区分無; アスファルト材料種類(一層) 改質As	m2		209		
切削オーバーレイ			平均切削深さ7cm以下; 舗設層一層; 段差すりつけ区分無; アスファルト材料種類(一層) 再生密粒As	m2		305		
舗装目地復旧				m		104		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装復旧工(二次復旧)				式		1		
不陸整正			補足材なし	m2		98		
上層路盤			路盤材種類再生粗粒調整碎石 RM- 30; 仕上り厚100mm	m2		71		
上層路盤			路盤材種類再生粗粒調整碎石 RM- 30; 仕上り厚150mm	m2		27		
基層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		98		
表層			材料種類再生粗粒度アスファルト混合物(20) ; 舗装厚50mm	m2		98		
舗装仮復旧工(仮復旧)				式		1		
下層路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り 厚290mm	m2		42		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15-2処理分区 市単独工事) 津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
下層路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り厚350mm	m2		15		
路盤			路盤材種類粒度調整碎石 RM- 30; 仕上り厚160mm	m2		10		
路盤			路盤材種類再生クラッシュラン RC- 40; 仕上り厚160mm	m2		31		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm	m2		62		
表層			材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚30mm	m2		41		
特殊ブロック設置			流用品	m2		12		
区画線工				式		1		
熔融式区画線			施工方法区分熔融式手動; 規格・仕様区分実線15cm; 塗布厚1.5mm; 排水性舗装無し	m		30		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	管路（単独）		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
溶融式区画線			施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分矢印・記号・文字15cm換算; 塗布厚厚1.5mm; 排水性舗装無し	m		20		
溶融式区画線			施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分矢印・記号・文字15cm換算; 塗布厚厚1.5mm; 排水性舗装無し	m		20		
高視認性区画線				m		30		
仮設工(夜間(8時間))				式		1		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員			交通誘導警備員B	人日		78		
直接工事費				式		1		
共通仮設				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
共通仮設費				式		1		
運搬費				式		1		
仮設材運搬費			2班体制分	式		1		
仮設材等積込み取卸し			2班体制分	式		1		
事業損失防止施設費				式		1		
試掘調査			夜間 インターロッキング® 部	箇所		5		
試掘調査			夜間 県道部	箇所		2		
家屋調査費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道		
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
技術管理費				式		1		
本管TV調査			夜間	m		98		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		
工事価格				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和4年度下工公補第22号(津北部第15- 2処理分区 市単独工事) 津北部第15- 1処理分区及び津北部第15- 2処理分区公共下水道工事	当初	事業区分		下水道	
					工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

令和４年度 下工公補第２２号

津北部第１５－１処理分区及び津北部第１５－２処理分区公共下水道工事

数 量 総 括 表

（津北部第１５－１処理分区補助対象工事）

レベル１： 管路

レベル１： 共通仮設

数 量 計 算 書							
補助対象工事							
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位	数量	
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(昼間(8時間))	管路土工	管路掘削	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	150.25	m3	150.3
		管路埋戻	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	116.16	m3	116.2
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	150.25	m3	150.3
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm	管布設工数量計算表より	65.00	m	65.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	65.00	m	65.0
		継手類		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0
	管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	19.58	m3	19.6
	管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	11.90	m	11.9
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	11.90	m	11.9
		軽量鋼矢板建込	掘削深3.0m以下	管路土留工数量計算表より	56.25	m	56.3
		軽量鋼矢板引抜	掘削深3.0m以下	管路土留工数量計算表より	56.25	m	56.3
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m		1.00	式	1.0

数 量 計 算 書							
補助対象工事							
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量
		土留支保(軽量金属支保)設置	2段	管路土留工数量計算表より	68.15	m	68.2
		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	管路土留工数量計算表より	68.15	m	68.2
		支保材質料(腹起し)			1.00	式	1.0
		支保材質料(水圧式ハイフサポート)			1.00	式	1.0
		支保材質料(水圧ポンプ)			1.00	式	1.0
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間(8時間))	管路土工	管路掘削	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	244.72	m3	244.7
		管路埋戻	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	156.15	m3	156.2
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	244.72	m3	244.7
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm	管布設工数量計算表より	163.80	m	163.8
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	163.80	m	163.8
		継手類		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0
	管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	47.83	m3	47.8
		管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	106.35	m

数 量 計 算 書							
補助対象工事							
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位	数量	
マンホール工(昼間(8時間))	組立マンホール工	軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	106.35	m	106.4
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	19.60	m	19.6
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	19.60	m	19.6
		軽量鋼矢板賃料	H=2.0m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m		1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	1段	管路土留工数量計算表より	106.35	m	106.4
		土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	管路土留工数量計算表より	106.35	m	106.4
		土留支保(軽量金属支保)設置	2段	管路土留工数量計算表より	19.60	m	19.6
		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	管路土留工数量計算表より	19.60	m	19.6
		支保材賃料(腹起し)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式パイプサポート)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ポンプ)			1.00	式	1.0
		組立1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0

数 量 計 算 書						
補助対象工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位 数量
マンホール工(夜間(8時間))	小型マンホール工	組立A1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
		小型マンホール	塩ビ製	単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
	組立マンホール工	組立1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
		組立A1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
	小型マンホール工	内副管	飛散防止板	単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
		小型マンホール	塩ビ製	単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
取付管およびます工(昼間(8時間))	管路土工	管路掘削	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	7.18	m3 7.2
		管路掘削	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	1.89	m3 1.9
		管路埋戻	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	3.57	m3 3.6
		管路埋戻	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	0.79	m3 0.8
		発生土処理	4t積	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	7.18	m3 7.2
		発生土処理	2t積	1.89 - 0.79 / 0.90 =	1.01	m3 1.0
	ます設置工	ます(塩ビ製)	φ200	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	5.00	箇所 5.0

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
取付管およびます工(夜間(8時間)) 管路土工	取付管布設工	取付管(塩ビ管)	φ100 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 5.00	箇所	5.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 12.30	m	12.3
	管路掘削	管路掘削	機械 BH0.28 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 16.60	m3	41.2
			取付管① 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.50 - 0.10) = 1.96		
			取付管② 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.25 - 0.10) = 1.61		
			取付管③ 車道部より 6.00 × 0.70 × (1.30 - 0.10) = 5.04		
			取付管④ 車道部より 7.00 × 0.70 × (1.33 - 0.10) = 6.03		
			取付管⑤ 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.25 - 0.10) = 1.61		
			取付管⑥ 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.17 - 0.10) = 1.50		
			取付管⑦ 車道部より 7.00 × 0.70 × (1.50 - 0.10) = 6.86		
			計 41.21		
		管路掘削	人力 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 4.41	m3	4.4
		管路埋戻	機械 BH0.28 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 9.99		
			取付管① 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.50 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 1.18		
			取付管② 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.25 - 0.314 - 0.29 - 0.05)		

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			= 0.83 取付管③ 車道部より 6.00 × 0.70 × (1.30 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 2.71 取付管④ 車道部より 7.00 × 0.70 × (1.33 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 3.31 取付管⑤ 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.25 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 0.83 取付管⑥ 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.17 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 0.72 取付管⑦ 車道部より 7.00 × 0.70 × (1.50 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 4.15 計 23.72	m3	23.7
		管路埋戻	人力 汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 2.87	m3	2.9
		発生土処理	4t積 汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 16.60 取付管① 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.50 - 0.10) = 1.96 取付管② 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.25 - 0.10) = 1.61 取付管③ 車道部より 6.00 × 0.70 × (1.30 - 0.10) = 5.04 取付管④ 車道部より 7.00 × 0.70 × (1.33 - 0.10) = 6.03 取付管⑤ 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.25 - 0.10) = 1.61 取付管⑥ 車道部より 2.00 × 0.70 × (1.17 - 0.10) = 1.50		

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	まず設置工 取付管布設工	発生土処理 まず(塩ビ製) 取付管(塩ビ管) 埋設標識テープ	取付管⑦ 車道部より $7.00 \times 0.70 \times (1.50 - 0.10)$ = 6.86 計 41.21	m3	41.2
			2t積 $4.41 - 2.87 / 0.90$ = 1.22	m3	1.2
			φ200 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 7.00	箇所	7.0
			φ100 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 7.00	箇所	7.0
			W=150 2倍 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より 21.00 取付管① 車道部より 2.00 取付管② 車道部より 2.00 取付管③ 車道部より 6.00 取付管④ 車道部より 7.00 取付管⑤ 車道部より 2.00 取付管⑥ 車道部より 2.00 取付管⑦ 車道部より 7.00 計 49.00	m	49.0
付帯工(昼間(8時間))	舗装撤去工(本復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 $3.25 + 4.40$ = 7.65	m	7.7
		舗装版破碎	As 15cm以下 別紙舗装工面積計算書より = 243.10	m2	243.1
		殻運搬	本管仮復旧 68.15×0.03 = 2.04 取付管仮復旧		

数 量 計 算 書						
補助対象工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
			7.06 × 0.03 = 0.21 本復旧 (243.10 - 68.15 - 7.06) × 0.05 = 8.39 計 10.64	m3	10.6	
		殻処分	10.64	m3	10.6	
	舗装撤去工(仮復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	128.15	m	128.2
		舗装版破碎	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	75.21	m2	75.2
		殻運搬	As 4t積 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	3.75	m3	3.8
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	3.75	m3	3.8
	舗装復旧工(本復旧)	不陸整正	補足材 RC-40 t=1cm 別紙舗装工面積計算書より	243.10	m2	243.1
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 別紙舗装工面積計算書より	243.10	m2	243.1
	舗装仮復旧工(仮復旧)	路盤	再生碎石RC-40 t=22cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	68.40	m2	68.4

数 量 計 算 書							
補助対象工事							
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量		
付帯工(夜間(8時間))		表層	再生密粒度As (13) 2.35t/m3 t=3cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	75.21	m2	75.2	
	舗装撤去工(本復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 4.00 × 6	= 24.00	m	24.0	
		舗装版破碎	As 15cm以下 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より インターロッキング仮復旧 特殊ブロック 14.70 - 6.36	= 8.34	m2	8.3	
		殻運搬	取付管歩道部(インターロッキング)仮復旧 14.70 × 0.03	= 0.44	m3	0.4	
		殻運搬	路面切削 As殻 舗装工面積計算書より 669.50 × 0.05	= 33.48	m3	33.5	
		殻処分	0.44 + 33.48	= 33.92	m3	33.9	
		特殊ブロック撤去	21.20 × 0.30	= 6.36	m2	6.4	
		舗装撤去工(二次復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 4.00 × 6.00 + 164.45 × 2.00	= 352.90	m	352.9
			舗装版破碎	As 15cm以下 本管部 管路土工数量計算書より 63-1路線 61路線 (46.90 + 73.20) × 1.50	= 180.15		

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			61路線 $44.35 \times 1.40 = 62.09$ 取付部 $(4.00 \times 3) \times 3.00 = 36.00$ 計 278.24	m2	278.2
		殻運搬	$180.15 \times 0.10 - 120.10 \times 1.00 \times 0.05 = 12.01$ $62.09 \times 0.10 - 44.35 \times 0.80 \times 0.05 = 4.44$ $36.00 \times 0.10 - (4.00 \times 3) \times 0.70 \times 0.05 = 3.18$ 計 19.63	m3	19.6
		殻処分	19.63	m3	19.6
	舗装撤去工(仮復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表より 取付管① 車道部より $2.00 \times 2.00 = 4.00$ 取付管② 車道部より $2.00 \times 2.00 = 4.00$ 取付管③ 車道部より $6.00 \times 2.00 = 12.00$ 取付管④ 車道部より $7.00 \times 2.00 = 14.00$ 取付管⑤ 車道部より $2.00 \times 2.00 = 4.00$ 取付管⑥ 車道部より $2.00 \times 2.00 = 4.00$ 取付管⑦ 車道部より $7.00 \times 2.00 = 14.00$ 計 390.60	m	390.6
		舗装版破碎	As 15cm以下 管路土工数量計算表より 取付管① 車道部より $2.00 \times 0.70 = 1.40$ 取付管② 車道部より $2.00 \times 0.70 = 1.40$ 取付管③ 車道部より $6.00 \times 0.70 = 4.20$ 取付管④ 車道部より $7.00 \times 0.70 = 4.90$		

数 量 計 算 書										
補助対象工事										
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)						単位	数量
			取付管⑤ 車道部より	2.00	×	0.70	=	1.40	m2	178.0
			取付管⑥ 車道部より	2.00	×	0.70	=	1.40		
			取付管⑦ 車道部より	7.00	×	0.70	=	4.90		
							計	178.03		
		殻運搬	As 4t積						m3	17.8
			管路土工数量計算表より					15.86		
			取付管① 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管② 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管③ 車道部より	(6.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.42		
			取付管④ 車道部より	(7.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.49		
			取付管⑤ 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管⑥ 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管⑦ 車道部より	(7.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.49		
							計	17.82		
		殻処分	As 管路土工数量計算表より					15.86	m3	17.8
			取付管① 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管② 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管③ 車道部より	(6.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.42		
			取付管④ 車道部より	(7.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.49		
			取付管⑤ 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管⑥ 車道部より	(2.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.14		
			取付管⑦ 車道部より	(7.00	×	0.70)	×	0.10 = 0.49		
							計	17.82		
		特殊ブロック撤去	21.20	×	0.30		=	6.36	m2	6.4

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	管路土工(二次復旧)	掘削	本管部 軽量鋼矢板有り $120.10 \times 1.50 \times 0.15 + 120.10 \times 0.90 \times 0.05 = 32.43$ 軽量鋼矢板なし $44.35 \times 1.40 \times 0.15 + 44.35 \times 0.80 \times 0.05 = 11.09$ 取付部 $12.00 \times 1.30 \times 0.15 + 12.00 \times 0.70 \times 0.05 = 2.76$ 計 46.28	m3	46.3
		土砂等運搬	= 46.28	m3	46.3
	舗装復旧工(本復旧)	不陸整正	補足材 RC-40 t=1cm 舗装工面積計算書より インターロッキング 14.70 = 14.70	m2	14.7
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 舗装工面積計算書より 36.00	m2	36.0
		インターロッキングブロック撤去・再設置	流用品 舗装工面積計算書より $32.00 - (21.20 \times 0.30) = 25.64$	m2	25.6
		特殊ブロック設置	流用品 $21.20 \times 0.30 = 6.36$	m2	6.4
		切削オーバーレイ	改質Ⅱ型密粒度As(20) t=5cm 舗装工面積計算書より 669.50	m2	669.5

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装目地復旧	成形目地 t=4cm 4.00 + 160.00 × 2 + 6.70 + 2.30 × 2 = 335.30	m	335.3
	舗装復旧工(二次復旧)	不陸整正	補足材なし 120.10 × 1.50 + 44.35 × 1.40 +(4.00 × 3) × 1.30 = 257.84	m2	257.8
		上層路盤	粒度調整碎石RM-30 t=10cm 120.10 × 1.50 + 44.35 × 1.40 +(4.00 × 3) × 3.00 = 278.24	m2	278.2
		基層	再生粗粒度As(20) t=5cm 120.10 × 1.50 + 44.35 × 1.40 +(4.00 × 3) × 3.00 = 278.24	m2	278.2
		表層	再生粗粒度As(20) t=5cm 120.10 × 1.50 + 44.35 × 1.40 = 242.24	m2	242.2
		表層	改質Ⅱ型密粒度As(20) t=5cm 4.00 × 3 × 3.00 = 36.00	m2	36.0
	舗装仮復旧工(仮復旧)	下層路盤	再生碎石RC-40 t=29cm 管路土工数量計算表より 取付管① 車道部より 2.00 × 0.70 = 1.40 取付管② 車道部より 2.00 × 0.70 = 1.40 取付管③ 車道部より 6.00 × 0.70 = 4.20 取付管④ 車道部より 7.00 × 0.70 = 4.90 取付管⑤ 車道部より 2.00 × 0.70 = 1.40 取付管⑥ 車道部より 2.00 × 0.70 = 1.40		

数 量 計 算 書						
補助対象工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
			取付管⑦ 車道部より 7.00 × 0.70 = 4.90			
			計 165.75	m2	165.8	
		路盤	粒度調整碎石RM-30 t=16cm 污水樹設置及び取付管工数量計算表より		m2	14.7
		路盤	再生碎石RC-40 t=22cm 管路土工数量計算表より		m2	2.7
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 管路土工数量計算表より		m2	158.4
		表層	再生密粒度As(13) 2.35t/m3 t=3cm 管路土工数量計算表より		m2	3.0
		表層	再生密粒度As(13) 2.20t/m3 t=3cm 污水樹設置及び取付管工数量計算表より		m2	14.7
		特殊ブロック設置	流用品 21.20 × 0.30 = 6.36	m2	6.4	
	区画線工	溶融式区画線	ゼブラW300 白 停止線 = 3.00	m	3.0	
		溶融式区画線	矢印記号文字W150 白 9.20 × 3 = 27.60 6.70 × 7 = 46.90			
			安全地帯 W150 白 3.50 + 2.50 + 2.50 = 8.50 0.50 × 3 × 2 = 3.00			

数 量 計 算 書						
補助対象工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位	数量
仮設工(昼間(8時間))	交通管理工	高視認性区画線	センターライン W150 黄	計 86.00	m	86.0
				= 160.00	m	160.0
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	53.00	人日	53.0
仮設工(夜間(8時間))	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	124.00	人日	124.0
	運搬費	建設機械運転費		2.00	台	2.0
		仮設材等運搬費	5.1 t	1.00	式	1.0
共通仮設費	事業損失防止施設費	仮設材等積込み取卸し	5.1 t	1.00	式	1.0
		家屋調査費	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0
		本管TV調査	昼間 内径800mm未満 管布設工数量計算書より	65.00	m	65.0
		本管TV調査	夜間 内径800mm未満 管布設工数量計算書より	163.80	m	163.8
		技術管理費				

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

補助対象工事（昼間）

No. 1

[illegible]

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

補助対象工事

No. 2

[illegible]

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

補助対象工事

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧														
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層		
	マンホール番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm	改良調整砕石RC-30 t=16cm	再生砕石RC-40 t=16cm	再生砕石RC-40 t=10cm	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=35cm							再生調整砕石（10） t=5cm	再生調整砕石（20） t=3cm	再生調整砕石（30） t=3cm
			m	m	m	m		m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
34-1	M34-2-2 M36-1	3.20	6.40				1.00	3.20		0.16							2.88									3.20		
36	M36-1 M36-2	28.25	28.25				1.00	28.25		1.41							25.43									28.25		
36	M36-2 M36-3	22.20	44.40				1.00	22.20		1.11							19.98									22.20		
43	M36-3 M43-1	5.80	11.60				1.00	5.80		0.29							5.22									5.80		
43	M43-1 M43-2	7.00	14.00				1.00	7.00		0.35							6.30									7.00		
43	M43-2 M43-3	1.70	3.40				1.00	1.70		0.09							1.53									1.70		
計		68.15	108.05	0.00	0.00	0.00		68.15	0.00	3.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	61.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	68.15	0.00	

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番 号	マンホール 種 別	平均 掘削深	人孔間 距 離	マンホール 控除長	管体 延長	マンホール可とう継手				
							マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バンドタイプ	貼付タイプ			
	下流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
34-1	M34-2-2	塩ビ MH									
	M36-1	塩ビ MH	2.440	3.20	0.40	2.80					
36	M36-1	塩ビ MH									
	M36-2	塩ビ MH	2.530	28.25	0.40	27.85					
36	M36-2	塩ビ MH									
	M36-3	1号 MH	2.545	22.20	0.65	21.55	1				
43	M36-3	1号 MH					1				
	M43-1	塩ビ MH	2.540	5.80	0.65	5.15					
43	M43-1	塩ビ MH									
	M43-2	塩ビ MH	2.285	7.00	0.40	6.60					
43	M43-2	塩ビ MH									
	M43-3	A1号 MH	2.265	1.70	0.65	1.05	1				
計				68.15	3.15	65.00	3				

管路土留工数量計算表 (本管リブφ150mm用)

No. 1

[illegible]

組立 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																								底 版	副 管		
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調 整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁		直壁								管取付壁 底版付										
									T-25 下段：梯子付	T-14		5	10	15		15	30	45	60	30	60	90	120	150	180			60	90	120	150	180				
36路線より								個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	
M36-3	4.750	2.357	PRP 150	2.393	150	3.863 2.377	150.6 2.0	1	1		3	1					1															1			1	
計								1	1		3	1					1														1			1		

組立A 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管					
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁										管取付壁 底版付									
									T-25	T-14		5	10	15	15	45	60	30	60	90							60	90							
m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個				
43路線より			PRP		150	3.703	102.1																												
M43-3	4.880	2.682	150	2.198	150	2.702	2.0	1		8			1			1		1									1					1			
計									1		8			1			1		1		1						1					1			

1 号マンホール底部工数量計算表

No. 1

総マンホール数		1 箇所		平均管内径 150 mm		
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.003	袋 0.075	袋 0.075
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.209	1	0.209	m ² 0.21
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.675			上塗り量
	コンクリート量		0.138			
	モルタル上塗り量	—○—	0.713			
	コンクリート量		0.133			
	モルタル上塗り量	—○— 	0.752	1	0.752	コンクリ ート量
	コンクリート量		0.128	1	0.128	
	モルタル上塗り量	—○— 	0.790			
	コンクリート量		0.123			
						m ³ 0.13

A 1 号マンホール底部工数量計算表

No. 2

総マンホール数		箇所		平均管内径 200 mm		
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m	袋	袋
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.175			m ²
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.485			上塗り量
	コンクリート量		0.103			
	モルタル上塗り量	—○—	0.527			m ²
	コンクリート量		0.096			
	モルタル上塗り量	—○— 	0.570			コンクリート量
	コンクリート量		0.089			
	モルタル上塗り量	—○— 	0.613			m ³
	コンクリート量		0.082			

塩ビ製小口径マンホール材料計算表 (本管 φ150mm用)

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			マンホール蓋 (台座付)及び 沈下防止板 φ 3 0 0		インバート					自在継手 15°	落差 インバート用 支管	下水 キャップ φ 150
		管底高	管種 管径		管径	管底高	落差	T-25 組	T-14 組	スト レート 起点 KT	スト レート 中間 ST	曲点 L	合流	落差 立管一体型			
m	m	mm	m	mm	m	cm			個	個	個	個	個	個	個	個	
36路線より M36-1	4.570	2.205	PRP 150	2.365	150	2.205	0	1						1		1	
36路線より M36-2	4.780	2.290	PRP 150	2.490	150	2.290	0	1					1			1	
43路線より M43-1	4.890	2.394	PRP 150	2.496	150	2.656	26.2	1							1		1
43路線より M43-2	4.800	2.677	PRP 150	2.123	150	2.677	0	1					1			1	

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 1

[illegible]

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）										流用土	
	上流側（下段）		砂基礎					埋戻土(RC-40)						
	マンホール番号		深さ	機械			人力	深さ	機械			人力		人力
				BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		(道路部)	BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45			
	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3		
36	M36-1	0.70	0.314		0.07		0.21		0.16			0.41		
	M36-2				0.636									
36	M36-1	0.70	0.314		0.07		0.21		0.05			-0.22		
	M36-2				0.186									
36	M36-2	0.70	0.314		0.26		0.21		0.56			0.41		
	M36-3				0.636									
36	M36-2	0.70	0.314		0.53		0.21		0.33			-0.22		
	M36-3				0.186									
59	M61-3+6.20	0.70	0.314		1.16		0.21		2.47			0.41		
	M59-1				0.636									
計				0.00	2.09	0.00	1.05		0.00	3.57	0.00	0.00	0.79	
				0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	2.09	0.00	1.05		0.00	3.57	0.00	0.00	0.79	

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	道路掘削延長 m	舗装切断				舗装幅 m	舗装版取壊						仮復旧															
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤				基層		表層			
	マンホールの番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石厚<40	再生砕石厚<40	再生砕石厚<40	再生砕石厚<40	再生砕石厚<40	再生砕石厚<40							再生砕石厚<40	再生砕石厚<40	再生砕石厚<40	
			m	m	m	m		m2	m2	m3	m2	m2	m3	t=29cm m2	t=16cm m2	t=16cm m2	t=10cm m2	t=22cm m2	t=35cm m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	t=5cm m2	t=3cm m2	t=3cm m2	
36	M36-1																												
	M36-2	0.35	0.70				0.70	0.25		0.01								0.25									0.25		
36	M36-1																												
	M36-2	0.35	0.70				0.70	0.25		0.01								0.25									0.25		
36	M36-2																												
	M36-3	1.25	2.50				0.70	0.88		0.04								0.88									0.88		
36	M36-2																												
	M36-3	2.55	5.10				0.70	1.79		0.09								1.79									1.79		
59	M61-3+6.20																												
	M59-1	5.55	11.10				0.70	3.89		0.19								3.89									3.89		
		10.05	20.10	0.00	0.00	0.00		7.06	0.00	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.06	0.00	

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

補助対象工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）												
	上流側（下段）			管基礎(砕石基礎(RC-40))						埋戻土(RC-40)						
							機 械			人 力	機 械			人 力		
				マホールの減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45			
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	
63-1	M63-2-1	9.00	0.90	0.450												
	M63-1-1			0.450	8.10	0.356		2.44			1.794		14.53			
63-1	M63-1-1	21.30	0.90	0.450												
	+21.30			0.000	20.85	0.356		6.28			1.299		24.90			
63-1	+21.30	16.60	0.90	0.000												
	M63-1-2			0.450	16.15	0.356		4.87			1.024		15.30			
61	M63-1-2	13.60	0.80	0.450												
	+13.6			0.000	13.15	0.356		3.49			0.619		6.73			
61	+13.6	27.20	0.90	0.000												
	M63-1-3			0.450	26.75	0.356		8.06			1.169		28.62			
61	M63-1-3	21.20	0.90	0.450												
	M61-1			0.450	20.30	0.356		6.12			0.894		17.06			
61	M61-1	21.10	0.80	0.450												
	M61-2			0.450	20.20	0.356		5.37			0.634		10.70			
61	M61-2	9.65	0.80	0.450												
	+9.65			0.000	9.20	0.356		2.44			0.644		4.97			
61	+9.65	17.05	0.90	0.000												
	M61-3			0.450	16.60	0.356		5.00			1.089		16.71			
59	M61-3	6.20	0.90	0.450												
	+6.20			0.000	5.75	0.356		1.73			1.369		7.64			
59	+6.20	1.55	0.90	0.000												
	M59-1			0.200	1.35	0.356		0.41			1.414		1.97			
62	M63-1-3	2.85	0.90	0.450												
	+2.85			0.000	2.40	0.356		0.72			1.339		3.43			
62	+2.85	3.00	0.90	0.000												
	+5.85			0.000	3.00	0.356		0.90			1.329		3.59			
計		170.30						0.00	11.30	0.00	0.00		0.00	22.40	0.00	0.00
							0.00	36.53	0.00	0.00		0.00	133.75	0.00	0.00	
素掘・矢板計								0.00	47.83	0.00	0.00		0.00	156.15	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

補助対象工事

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧																
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層				
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm	改良調整砕石RC-30 t=16cm	再生砕石RC-40 t=16cm	再生砕石RC-40 t=10cm	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=35cm									再生調整砕石（10） t=5cm	再生調整砕石（10） t=3cm	再生調整砕石（10） t=3cm
			m	m	m	m		m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
63-1	M63-2-1 M63-1-1	9.00	18.00				1.00	9.00		0.90				8.10													9.00			
63-1	M63-1-1 +21.30	21.30	42.60				1.00	21.30		2.13				19.17													21.30			
63-1	+21.30 M63-1-2	16.60	33.20				1.00	16.60		1.66				14.94													16.60			
61	M63-1-2 +13.6	13.60	27.20				0.80	10.88		1.09				10.88													10.88			
61	+13.6 M63-1-3	27.20	54.40				1.00	27.20		2.72				24.48													27.20			
61	M63-1-3 M61-1	21.20	42.40				1.00	21.20		2.12				19.08													21.20			
61	M61-1 M61-2	21.10	42.20				0.80	16.88		1.69				16.88													16.88			
61	M61-2 +9.65	9.65	19.30				0.80	7.72		0.77				7.72													7.72			
61	+9.65 M61-3	17.05	34.10				1.00	17.05		1.71				15.35													17.05			
59	M61-3 +6.20	6.20	12.40				1.00	6.20		0.62				5.58													6.20			
59	+6.20 M59-1	1.55	3.10				1.00	1.55		0.16				1.40													1.55			
62	M63-1-3 +2.85	2.85	5.70				1.00	2.85		0.29				2.57													2.85			
62	+2.85 +5.85	3.00					1.00										2.70										3.00			
計		170.30	334.60	0.00	0.00	0.00		158.43	0.00	15.86	0.00	0.00	0.00	146.15	0.00	0.00	0.00	2.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	158.43	3.00	0.00		

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番 号	マンホール 種 別	平均 掘削深	人孔間 距 離	マンホール 控除長	管体 延長					
							マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バンドタイプ [°]	貼付タイプ [°]			
	下流側						個	個	日	箇所	箇所
	上流側		m	m	m	m					
63-1	M63-2-1	既設 1号 MH	2.490	9.00	0.90	8.10		1			
	M63-1-1	A1号 MH					1	1			
63-1	M63-1-1	A1号 MH	1.995	21.30	0.45	20.85	1				
	+21.30	プラス点									
63-1	+21.30	プラス点	1.720	16.60	0.45	16.15					1
	M63-1-2	A1号 MH					1				
61	M63-1-2	A1号 MH	1.315	13.60	0.45	13.15	1				
	+13.6	プラス点									
61	+13.6	プラス点	1.865	27.20	0.45	26.75					
	M63-1-3	1号 MH					1				
61	M63-1-3	1号 MH	1.590	21.20	0.90	20.30	1				
	M61-1	A1号 MH					1				
61	M61-1	A1号 MH	1.330	21.10	0.90	20.20	1				
	M61-2	A1号 MH					1				
61	M61-2	A1号 MH	1.340	9.65	0.45	9.20	1				
	+9.65	プラス点									
61	+9.65	プラス点	1.785	17.05	0.45	16.60					
	M61-3	1号 MH					1				
59	M61-3	1号 MH	2.065	6.20	0.45	5.75	1				
	+6.20	プラス点									
59	+6.20	プラス点	2.110	1.55	0.20	1.35					
	M59-1	塩ビ MH									
62	M63-1-3	1号 MH	2.035	2.85	0.45	2.40	1				
	+2.85	プラス点									
62	+2.85	プラス点	1.935	3.00		3.00					
	+5.85	プラス点									
計				170.30	6.50	163.80	13	1			1

管路土留工数量計算表（本管リブφ150mm用）

No. 1																															
路線 番号	マンホール 種 別	区間 距離	掘 削 深	平 掘 均 削 深	掘 削 幅	軽量鋼矢板建込・引抜工						軽量鋼矢板						軽量金属製支保工													
						H=1.5m以下	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=3.8m以下	L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	1 段			2.0 m未満			2 段		2.0 m以上		3 段		3.5 m以上	
																		W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=		
	下流側（上段）	m	m	m	m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m			
	上流側（下段）																														
63-1	M63-2-1	9.00	2.680	2.490	0.90																										
	M63-1-1		2.300			9.00																									
63-1	M63-1-1	21.30	2.280	1.995	0.90																										
	+21.30		1.710			21.30																									
63-1	M63-1-2	16.60	1.730	1.720	0.90		16.60																								
	M63-1-2		1.130																												
61	+13.6	13.60	1.500	1.315	0.80																										
	+13.6		1.500																												
61	M63-1-3	27.20	2.230	1.865	0.90		27.20																								
	M63-1-3		1.700																												
61	M61-1	21.20	1.480	1.590	0.90		21.20																								
	M61-1		1.460																												
61	M61-2	21.10	1.200	1.330	0.80																										
	M61-2		1.180																												
61	+9.65	9.65	1.500	1.340	0.80																										
	+9.65		1.500																												
61	M61-3	17.05	2.070	1.785	0.90		17.05																								
	M61-3		2.050																												
59	+6.20	6.20	2.080	2.065	0.90			6.20																							
	+6.20		2.080																												
59	M59-1	1.55	2.140	2.110	0.90			1.55																							
	M63-1-3		2.190																												
62	+2.85	2.85	1.880	2.035	0.90			2.85																							
	+2.85		1.880																												
62	+5.85	3.00	1.990	1.935	0.90		3.00																								
計		170.30					106.35	19.60					54.85	62.10	9.00			106.35				19.60									

No. 1

組立 1 号人孔材料表

No. 1

[illegible]

組立A 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管											
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁		直壁										管取付壁 底版付													
									T-25	T-14		5	10	15		15	45	60	30	60	90							60			90										
									下段:梯子付																																
63-1路線より								個	組	組	mm	個	個	個	個		個	個	個	個	個											個	個							個	個
M63-1-1	5.800	3.606	PRP 150	2.194	150	3.626	2.0	1	1		4				1				1		1											1									
63-1路線より																																									
M63-1-2	5.370	3.740	PRP 150	1.630	150	4.339	59.9	1		1	40				1			1														1									
61路線より																																									
M61-1	7.290	5.916	PRP 150	1.374	150	5.936	2.0	1		1	34	1				1																1									
61路線より																																									
M61-2	7.950	6.854	PRP 150	1.096	150	6.874	2.0	1		1	6		1			1																1									
計								4	3	1	84	1	1	2		2	2		1												1	3									

1 号マンホール底部工数量計算表

No. 1

総マンホール数		2 箇所		平均管内径 150 mm	
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量
名称	規格	形態			合計数量
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.065	袋 1.625
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.209	2	0.418
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.675		上塗り量
	コンクリート量		0.138		
	モルタル上塗り量	—○—	0.713		m ²
	コンクリート量		0.133		1.50
	モルタル上塗り量	—○—	0.752	2	1.504
	コンクリート量	—○—	0.128	2	0.256
	モルタル上塗り量	—○—	0.790		m ³
	コンクリート量	—○—	0.123		0.26

A 1 号マンホール底部工数量計算表

No. 2

総マンホール数		4 箇所		平均管内径 150 mm		
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.084	袋 2.100	袋 2.100
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.175	4	0.700	m ² 0.70
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.474			上塗り量
	コンクリート量		0.095			
	モルタル上塗り量	—○—	0.506	4	2.024	
	コンクリート量		0.091	4	0.364	
	モルタル上塗り量	—○—	0.538			コンクリ ート量
	コンクリート量	—○—	0.087			
	モルタル上塗り量	—○—	0.570			
	コンクリート量	—○—	0.082			
						m3 0.36

塩ビ製小口径マンホール材料計算表 (本管 φ150mm用)

No. 1

[illegible]

内副管工総括表（本管φ150mm用）

1.0式

形状寸法	工 種	細 目	計 算 式	数 量	単 位
別紙図面参照	内副管工(1)	M63-1-2	TA200 点検孔付		
			=		
				0.599	1.000 個
			TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50		
			=((4.339 - 3.740)-(0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 -))/ 0.500 = 0.648		1.000 個
	内副管工(2)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(3)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(4)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(5)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(6)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(7)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(8)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(9)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	内副管工(10)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
			= (+ + ×		m
	バツフル	TA200	点検孔付		1.000 個
	〃	TB200			1.000 個
	直管布設延長	φ100	+ + + + + + + + + + =	L=	m
	副管用90°支管	φ100			個
	カラー	φ100	+ + + + + + + + + + =		個
	副管固定金具	φ100用	+ + + + + + + + + + =		個
	90°曲管	φ100			個
	ブレンエンド直管	φ100	+ + + + + + + + + +)/4m/本=		本
	下水キャップ	φ100			個

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 1

[illegible]

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）										
	上流側（下段）		砂基礎					埋戻土(RC-40)					流用土
	マンホール番号		深さ	機械			人力	深さ	機械			人力	人力
BH0.13		BH0.28		BH0.45	(道路部)	BH0.13	BH0.28	BH0.45					
		m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
1 63-1	M63-1-1	0.70	0.314		0.63		0.21			1.46			0.41
	+21.30					0.696							
2 63-1	M63-1-2	0.70	0.314		0.63		0.21			1.34			0.41
	M63-1-3					0.636							
3 63-1	M63-1-2	0.70	0.314		0.63		0.21			1.46			0.41
	M63-1-3					0.696							
4 61	M63-1-3	0.70	0.314		0.63		0.21			1.49			0.41
	M61-1					0.711							
5 61	M63-1-3	0.70	0.314		0.63		0.21			1.49			0.41
	M61-1					0.711							
6 61	M61-1	0.70	0.314		0.63		0.21			1.22			0.41
	M61-2					0.581							
7 61	M61-2	0.70	0.314		0.63		0.21			1.53			0.41
	M61-3					0.729							
計				0.00	4.41	0.00	1.47		0.00	9.99	0.00	0.00	2.87
				0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	4.41	0.00	1.47		0.00	9.99	0.00	0.00	2.87

舗装工面積計算書（補助）

No. 1

夜間 切削オーバーレイ 63-1路線、61路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (㎡)	備 考
自: No. 0 至: No. 1	20.00	4.00 4.00	80.0	
自: No. 1 至: No. 2	20.00	4.00 4.00	80.0	
自: No. 2 至: No. 3	20.00	4.00 4.00	80.0	
自: No. 3 至: No. 4	20.00	4.00 4.00	80.0	
自: No. 4 至: No. 5	20.00	4.00 4.00	80.0	
自: No. 5 至: No. 6	20.00	4.00 4.20	82.0	
自: No. 6 至: No. 7	20.00	4.20 4.10	83.0	
自: No. 7 至: No. 8	20.00	4.10 4.20	83.0	
自: No. 0 + 0.00 至: No. 0 + 2.30	2.30	6.70 12.00	21.5	59路線M61-3付近取付部
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小 計	162.30		669.5	

夜間 インターロッキング

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (㎡)	備 考
自: No. 0 至: No. 0 + 2.60	2.60	1.50 1.50	3.9	ます①
自: No. 0 至: No. 0 + 2.60	2.60	1.50 1.50	3.9	ます②
自: No. 0 至: No. 0 + 2.70	2.70	1.50 1.50	4.1	ます③
自: No. 0 至: No. 0 + 2.70	2.70	1.50 1.50	4.1	ます④
自: No. 0 至: No. 0 + 2.60	2.60	1.50 1.50	3.9	ます⑤
自: No. 0 至: No. 0 + 2.60	2.60	1.50 1.50	3.9	ます⑥
自: No. 0 至: No. 0 + 2.70	2.70	1.50 1.50	4.1	ます⑦
自: No. 0 至: No. 0 + 2.70	2.70	1.50 1.50	4.1	62路線M63-1-3付近
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小 計	21.20		32.0	
計	183.50		701.5	

舗装工面積計算書（補助）

No. 2

夜間 表層・基層・上層路盤

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0	3.00	4.00	12.0	ます③
至: No. 0 + 3.00		4.00		
自: No. 0	3.00	4.00	12.0	ます④
至: No. 0 + 3.00		4.00		
自: No. 0	3.00	4.00	12.0	ます⑦
至: No. 0 + 3.00		4.00		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	9.00		36.0	

昼間 表層 34-1路線、36路線、43路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0	7.30	3.25	23.7	
至: No. 0 + 7.30		3.25		
自: No. 0 + 7.30	12.70	3.25	41.3	
至: No. 1		3.25		
自: No. 1	12.20	3.25	40.6	
至: No. 1 + 12.20		3.40		
自: No. 1 + 12.20	7.80	3.40	26.5	
至: No. 2		3.40		
自: No. 2	20.00	4.50	89.0	
至: No. 3		4.40		
自: No. 3	5.00	4.40	22.0	
至: No. 3 + 5.00		4.40		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	65.00		243.1	
計	74.00		279.1	
合 計	257.50		980.6	

単 位 数 量 計 算 書

昼間

細別	継手類	1.0式	
規格	PRP150	当り	
名称	算式	単位	数量
リブゴム可とうマンホール継手	150(拡張バンドタイプ)3.00	個	3.0

夜間

細別	継手類	1.0式	
規格	PRP150	当り	
名称	算式	単位	数量
リブゴム可とうマンホール継手	150 (拡張バンドタイプ)13.00	個	13.0
リブゴム可とうマンホール継手	150 (貼付タイプ)1.00	個	1.0

単 位 数 量 計 算 書

屋間

細別	組立マンホール		1.0式	
規格	1号組立人孔		当り	
名称	算式	単位	数量	
組立マンホール設置工	3m以下	1.00	箇所	1.0
無収縮早強性モルタル	25.0kg	0.08	袋	0.1
再生クラッシャーラン	RC-40	0.21	m2	0.2
コンクリート	18-8-40 (BB)	0.13	m3	0.1
モルタル上塗	1 : 2	0.75	m2	0.8
1号マンホール	削孔 PRP φ 150	1.00	箇所	1.0
人孔鉄蓋及び受枠	φ 600 T-25 (転落防止梯子付)	1.00	組	1.0
マンホール調整リング	φ 600 50mm	1.00	個	1.0
1号マンホール	斜壁 600×900×600	1.00	個	1.0
1号マンホール	管取付壁(底版付) 900×1800	1.00	個	1.0

屋間

細別	組立マンホール		1.0式	
規格	A1号組立人孔		当り	
名称	算式	単位	数量	
組立マンホール設置工	3m以下	1.00	箇所	1.0
無収縮早強性モルタル	25.0kg	0.20	袋	0.2
再生クラッシャーラン	RC-40	0.18	m3	0.2
コンクリート	18-8-40 (BB)	0.09	m3	0.1
モルタル上塗	1 : 2	0.54	m2	0.5
人孔鉄蓋及び受枠	φ 600 T-25 (転落防止梯子付)	1.00	組	1.0
マンホール調整リング	φ 600 150mm	1.00	個	1.0
A1号マンホール	斜壁 600×600/900×600	1.00	個	1.0
A1号マンホール	直壁 600/900×600	1.00	個	1.0
A1号マンホール	管取付壁(底版付) 600/900×900	1.00	個	1.0

単 位 数 量 計 算 書

昼間

細別	小型マンホール			1.0式	
規格	塩化ビニル製			当り	
名称	算式			単位	数量
小型マンホール工	起点中間形式	2.0m超～3.5m以下	2.00	箇所	2.0
小型マンホール工	起点落差形式	2.0m超～3.5m以下	1.00	箇所	1.0
小型マンホール工	底部会合式	2.0m超～3.5m以下	1.00	箇所	1.0
リブ用本管自在継手	φ150		3.00	個	3.0
落差パイプ用支管	300-150		1.00	個	1.0
人孔鉄蓋及び受枠	T-25 φ300		4.00	組	4.0

夜間

細別	組立マンホール			1.0式	
規格	1号組立人孔			当り	
名称	算式			単位	数量
組立マンホール設置工	3m以下		2.00	箇所	2.0
無収縮早強性モルタル	25.0kg		1.63	袋	1.6
再生クラッシャーラン	RC-40		0.42	m2	0.4
コンクリート	18-8-40 (BB)		0.26	m3	0.3
モルタル上塗	1 : 2		1.50	m2	1.5
1号マンホール	削孔 PRP φ150		3.00	箇所	3.0
人孔鉄蓋及び受枠	φ600 T-25		1.00	組	1.0
人孔鉄蓋及び受枠	φ600 T-25 (転落防止梯子付)		1.00	組	1.0
マンホール調整リング	φ600 50mm		2.00	個	2.0
1号マンホール	斜壁 600×900×300		1.00	個	1.0
1号マンホール	斜壁 600×900×450		1.00	個	1.0
1号マンホール	管取付壁(底版付) 900×1500		1.00	個	1.0
1号マンホール	管取付壁(底版付) 900×1800		1.00	個	1.0

単 位 数 量 計 算 書

夜間

細別	組立マンホール		1.0式	
規格	A1号組立人孔		当り	
名称	算式	単位	数量	
組立マンホール設置工	2m以下	3.00	箇所	3.0
組立マンホール設置工	3m以下	1.00	箇所	1.0
無収縮早強性モルタル	25.0kg	2.10	袋	2.1
再生クラッシャーラン	RC-40	0.70	m3	0.7
コンクリート	18-8-40(BB)	0.36	m3	0.4
モルタル上塗	1:2	2.02	m2	2.0
A1号マンホール	削孔 PRP φ150	4.00	箇所	4.0
人孔鉄蓋及び受枠	φ600 T-25	3.00	組	3.0
人孔鉄蓋及び受枠	φ600 T-25 (転落防止梯子付)	1.00	組	1.0
マンホール調整リング	φ600 50mm	1.00	個	1.0
マンホール調整リング	φ600 100mm	1.00	個	1.0
マンホール調整リング	φ600 150mm	2.00	個	2.0
A1号マンホール	斜壁 600×600/900×450	2.00	個	2.0
A1号マンホール	斜壁 600×600/900×600	2.00	個	2.0

夜間

細別	組立マンホール			1.0式	
規格	A1号組立人孔			当り	
名称	算式			単位	数量
A1号マンホール	直壁	600/900×600	1.00	個	1.0
A1号マンホール	管取付壁(底版付)	600/900×600	1.00	個	1.0
A1号マンホール	管取付壁(底版付)	600/900×900	3.00	個	3.0

単 位 数 量 計 算 書

夜間

細別	内副管			1.0式
規格	飛散防止板			当り
名称	算式	単位	数量	
内副管取付工	段差1.0m未満 M63-1-2 1 箇所	箇所	1.0	
バッフル	TA200 点検孔付 M63-1-2 1 個	個	1.0	
バッフル	TB200 M63-1-2 1 個	個	1.0	

夜間

細別	小型マンホール			1.0式
規格	塩化ビニル製			当り
名称	算式	単位	数量	
小型マンホール工	起点落差形式 3.5m以下 1.00	箇所	1.0	
人孔鉄蓋及び受枠	T-25 φ300 1.00	組	1.0	

単 位 数 量 計 算 書

細別	家屋調査		1.0式			
規格			当り			
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位 数量
工作物 (事前調査)	2.00	箇所	2.0			
諸経費等・その他原価・一般管理費等	1.00	式	1.0			

令和4年度 下工公補第22号

津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事

数量総括表

(津北部第15-1処理分区市単独工事)

レベル1 : 管路

レベル1 : 共通仮設

数 量 計 算 書							
市単独工事							
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位	数量	
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(昼間(8時間))	管路土工	管路掘削	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	139.34	m3	139.3
		管路埋戻	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	83.42	m3	83.4
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	139.34	m3	139.3
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm	管布設工数量計算表より	122.35	m	122.4
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	122.35	m	122.4
		継手類		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0
	管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	32.70	m3	32.7
	管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	6.60	m	6.6
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	6.60	m	6.6
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m		1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	2段	管路土留工数量計算表より	6.60	m	6.6

数 量 計 算 書						
市単独工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位 数量
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間(8時間))		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	管路土留工数量計算表より	6.60	m 6.6
		支保材質料(腹起し)			1.00	式 1.0
		支保材質料(水圧式パイプサポート)			1.00	式 1.0
		支保材質料(水圧ポンプ)			1.00	式 1.0
	管路土工	管路掘削	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	45.11	m3 45.1
		管路埋戻	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	18.62	m3 18.6
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	45.11	m3 45.1
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm	管布設工数量計算表より	55.80	m 55.8
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	55.80	m 55.8
		継手類		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
	管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	14.83	m3 14.8
		組立1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
	マンホール工(昼間(8時間))					
	組立マンホール工					
	組立1号マンホール					

数 量 計 算 書								
市単独工事								
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位	数量		
マンホール工(夜間(8時間))	小型マンホール工	組立A1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
		内副管	飛散防止板	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
		小型マンホール	塩ビ製	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
	組立マンホール工	組立1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
		組立A1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
		内副管	飛散防止板	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
	小型マンホール工	小型マンホール	塩ビ製	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0	
	取付管およびます工(昼間(8時間))	管路土工						
			管路掘削	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	12.48	m3	12.5
管路掘削			人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	7.56	m3	7.6	
管路埋戻			機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	6.47	m3	6.5	
管路埋戻			人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	5.36	m3	5.4	
発生土処理			4t積	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	12.48	m3	12.5	

数 量 計 算 書												
市単独工事												
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)						単位	数量		
取付管およびます工(夜間(8時間)) 管路土工	ます設置工	発生土処理	2t積	7.56	-	5.36	/	0.90	=	1.60	m3	1.6
		ます(塩ビ製)	φ 200	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						12.00	箇所	12.0
		取付管(塩ビ管)	φ 100	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						10.00	箇所	10.0
	取付管布設工	埋設標識テープ	W=150 2倍	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						16.70	m	16.7
		管路掘削	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						3.16	m3	3.2
		管路掘削	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						1.26	m3	1.3
	ます設置工	管路埋戻	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						1.39	m3	1.4
		管路埋戻	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						0.82	m3	0.8
		発生土処理	4t積	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						3.16	m3	3.2
	取付管布設工	発生土処理	2t積	1.26	-	0.82	/	0.90	=	0.35	m3	0.4
		ます(塩ビ製)	φ 200	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						2.00	箇所	2.0
		取付管(塩ビ管)	φ 100	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より						2.00	箇所	2.0

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
付帯工(昼間(8時間))	舗装撤去工(本復旧)	埋設標識テープ	W=150 2倍 汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 4.90	m	4.9
		舗装版切断	As 15cm以下 2.95 + 5.15 + 4.25 + 4.10 + 2.50 + 2.35 = 21.30	m	21.3
		舗装版破碎	As 15cm以下 別紙舗装工面積計算書より 229.10 + 34.40 + 170.70 + 70.40 = 504.60	m2	504.6
		殻運搬	本管仮復旧 101.24 × 0.03 = 3.04 取付管仮復旧 11.69 × 0.03 = 0.35 本復旧 (504.60 - 101.24 - 11.69) × 0.05 = 19.58		
		殻処分	As殻 22.97	m3	23.0
	舗装撤去工(仮復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 283.20	m	283.2
		舗装版破碎	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 112.93	m2	112.9

数 量 計 算 書						
市単独工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
付帯工(夜間(8時間))	舗装復旧工(本復旧)	殻運搬	As 4t積 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より	5.64	m3	5.6
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より	5.64	m3	5.6
		不陸整正	補足材 RC-40 t=1cm 別紙舗装工面積計算書より 229.10 + 34.40 + 170.70 + 70.40 = 504.60	m2	504.6	
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 別紙舗装工面積計算書より 229.10 + 34.40 + 170.70 + 70.40 = 504.60	m2	504.6	
		舗装仮復旧工(仮復旧)				
		路盤	再生砕石RC-40 t=22cm 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より	112.27	m2	112.3
		表層	再生密粒度As (13) 2.35t/m3 t=3cm 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より	112.93	m2	112.9
		舗装撤去工(本復旧)				
		殻運搬	路面切削 177.50 × 0.05 = 8.88	m3	8.9	
		殻処分	As殻	8.88	m3	8.9

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	舗装撤去工(二次復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 37.10 × 2.00 = 74.20	m	74.2
		舗装版破碎	As 15cm以下 37.10 × 1.40 = 51.94	m2	51.9
		殻運搬	51.94 × 0.10 - 37.10 × 0.80 × 0.05 = 3.71	m3	3.7
		殻処分	As殻 3.71	m3	3.7
	舗装撤去工(仮復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 123.60	m	123.6
		舗装版破碎	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 48.95	m2	49.0
		殻運搬	As 4t積 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 3.93	m3	3.9
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 3.93	m3	3.9
	管路土工(二次復旧)	掘削	機械BH0.28 37.10 × 1.40 × 0.15 + 37.10 × 0.80 × 0.05 = 9.28	m3	9.3
		発生土処理	9.28	m3	9.3

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	舗装復旧工(本復旧)	切削オーバーレイ	改質Ⅱ型密粒度(20) t=5cm 舗装工面積計算書より	= 177.50	m2 177.5
		舗装目地復旧	成形目地 t=4cm 3.90 + 45.00 × 2	= 93.90	m 93.9
	舗装復旧工(二次復旧)	不陸整正	補足材なし 37.10 × 1.40	= 51.94	m2 51.9
		上層路盤	粒度調整碎石RM-30 t=10cm 37.10 × 1.40	= 51.94	m2 51.9
		基層	再生粗粒度As(20) t=5cm 37.10 × 1.40	= 51.94	m2 51.9
		表層	再生粗粒度As(20) t=5cm 37.10 × 1.40	= 51.94	m2 51.9
	舗装仮復旧工(仮復旧)	下層路盤	再生碎石RC-40 t=29cm 管路土工数量計算表より	29.68	m2 29.7
		路盤	再生碎石RC-40 t=22cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	19.27	m2 19.3
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 管路土工数量計算表より	29.68	m2 29.7

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工(昼間(8時間)) 					

数 量 計 算 書								
市単独工事								
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量	
	役務費	借地料	単位数量計算書参照			1.00	式	1.0
	技術管理費	本管TV調査	昼間	内径800mm未満	管布設工数量計算表より	122.35	m	122.4
		本管TV調査	夜間	内径800mm未満	管布設工数量計算表より	55.80	m	55.8

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

市単独工事(昼間)

No. 1

[illegible]

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

市単独工事(昼間)

No. 2

[illegible]

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

市単独工事(昼間)

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧														
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層		
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm	改良調整砕石RC-30 t=16cm	再生砕石RC-40 t=16cm	再生砕石RC-40 t=10cm	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=35cm							再生調整砕石（120） t=5cm	再生調整砕石（120） t=3cm	再生調整砕石（120） t=3cm
			m	m	m	m		m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
40	M36-3 +23.00	23.00	46.00				0.80	18.40		0.92								18.40									18.40	
35-1	M36-1 M35-1	3.80	7.60				1.00	3.80		0.19								3.42									3.80	
41	M43-3 M41-1	2.80	5.60				1.00	2.80		0.14								2.52									2.80	
41	M41-1 M41-2	68.50	137.00				0.80	54.80		2.74								54.80									54.80	
42	M43-3 M42-1	26.80	53.60				0.80	21.44		1.07								21.44									21.44	
計		124.90	249.80	0.00	0.00	0.00		101.24	0.00	5.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	101.24	0.00

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番 号	マンホール 種 別	平均 掘削深	人孔間 距 離	マンホール 控除長	管体 延長	マンホール可とう継手				
							マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バンドタイプ	貼付タイプ			
	下流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
40	M36-3	1号 MH					1				
	+23.00	プラス点	1.175	23.00	0.45	22.55					1
35-1	M36-1	塩ビ MH									
	M35-1	塩ビ MH	2.460	3.80	0.40	3.40					
41	M43-3	A1号 MH					1				
	M41-1	塩ビ MH	2.190	2.80	0.65	2.15					
41	M41-1	塩ビ MH									
	M41-2	塩ビ MH	1.485	68.50	0.40	68.10					
42	M43-3	A1号 MH					1				
	M42-1	塩ビ MH	1.280	26.80	0.65	26.15					1
計				124.90	2.55	122.35	3				2

管路土留工数量計算表 (本管リブφ150mm用)

No. 1

[illegible]

組立 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管						
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調 整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁				直壁								管取付壁 底版付								
									T-25	T-14		5	10	15	15	30	45	60	30	60	90	120	150	180			60	90	120	150	180					
36路線より																																				
M36-3	4. 750	2. 357	PRP 150	2. 393	150	3. 631	127. 4	1			3																						1			
計								1			3																						1			

組立A 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																								底 版	副 管					
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調 整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁		直壁										管取付壁 底版付											
									T-25	T-14		5	10	15		15	45	60	30	60	90							60	90										
									下段:梯子付																														
	m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個										個	個							個	個
43路線より																																							
M43-3	4. 880	2. 682	PRP 150	2. 198	150	3. 703	102.1	2			8																											1	
																									</														

塩ビ製小口径マンホール材料計算表 (本管 φ150mm用)

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			マンホール蓋 (台座付)及び 沈下防止板 φ 3 0 0		インバート					自在継手 15°	落差 インバート用 支管	下水 キャップ φ 150
		管底高	管種 管径		管径	管底高	落差	T-25 組	T-14 組	スト レート 起点 KT	スト レート 中間 ST	曲点 L	合流	落差 立管一体型			
m	m	mm	m	mm	m	cm			個	個	個	個	個	個	個		
35-1路線より M35-1	4.600	2.236	PRP 150	2.364	150	2.538	30.2							1		1	
41路線より M41-1	4.710	2.710	PRP 150	2.000	150	3.314	60.4	1						1		1	
41路線より M41-2	4.890	3.520	PRP 150	1.370				1					1				
42路線より M42-1	5.010	3.837	PRP 150	1.173				1					1				
34-1路線より M34-2-2	4.500	2.195	PRP 150	2.305	150	2.195	0						1		1		
35-1路線より M36-1	4.570	2.205	PRP 150	2.365	150	2.225	2.0							1	1		

内副管工総括表（本管φ150mm用）

1.0式

形状寸法	工 種	細 目	計 算 式	数 量	単 位
別紙図面参照	内副管工(1)	M36-3	TA200 点検孔付 =	落差 1.274	1.000 個
			TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50 = {(3.631 - 2.357)-(0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 -)} / 0.500 = 1.998	2.000	個
	内副管工(2)	M43-3	TA200 点検孔付 =	落差 1.021	1.000 個
			TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50 = {(3.703 - 2.682)-(0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 -)} / 0.500 = 1.492	2.000	個
	内副管工(3)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(4)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(5)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(6)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(7)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(8)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(9)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	内副管工(10)		直管延長= (流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差 = (-)- - - - - 路線より 布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	直管延長 布設延長	m
			= (+) ×		m
	バツフル	TA200	点検孔付		2.000 個
	〃	TB200			4.000 個
	直管布設延長	φ100	+ + + + + + + + =	L=	m
	副管用90°支管	φ100			個
	カラー	φ100	+ + + + + + + =		個
	副管固定金具	φ100用	+ + + + + + + =		個
	90°曲管	φ100			個
	ブレンエンド直管	φ100	+ + + + + + +)/4m/本=		本
	下水キャップ	φ100			個

汚水柵設置及び取付管工数量計算表

市単独工事

No. 1

路線 番号	下流側（上段）	箇所数	取付管径	現況	仮復旧		掘削幅	本管土被り		平均掘削深	道路	宅内	道路部土工延長	埋設標識シート	掘 削（上段:素掘 下段:矢板）				
	上流側（下段）			厚	厚	下流側		平均	掘削延長 本管～官民界		掘削延長 官民界～柵	道路部延長 一本管掘削幅1/2	深さ		機 械			人力	
	マノール番号			表層	上層路盤								道路部		BH0.13	BH0.28	BH0.45		
				基層	下層路盤								宅内						
21	M36-3	1	100		3	0.70	0.970	0.925	1.013	2.40	1.00		2.40	2.40	0.963		1.62		0.63
40	+23.00				22		0.880					2.40			0.900				
24	M41-1	1	100		3	0.70	1.240	1.230	1.165	2.00	1.00		2.00	2.00	1.115		1.56		0.63
41	M41-2				22		1.220					2.00			0.900				
25	M41-1	1	100		3	0.70	1.240	1.230	1.165	2.00	1.00		2.00	2.00	1.115		1.56		0.63
41	M41-2				22		1.220					2.00			0.900				
26	M41-1	1	100		3	0.70	1.240	1.230	1.165	1.40	1.00		1.40	1.40	1.115		1.09		0.63
41	M41-2				22		1.220					1.40			0.900				
27	M41-1	1	100		3	0.70	1.240	1.230	1.165	1.40	1.00		1.40	1.40	1.115		1.09		0.63
41	M41-2				22		1.220					1.40			0.900				
28	M41-1	1	100		3	0.70	1.240	1.230	1.165	2.00	1.00		2.00	2.00	1.115		1.56		0.63
41	M41-2				22		1.220					2.00			0.900				
29	M41-1	1	100		3	0.70	1.240	1.230	1.165	1.50	1.00		1.50	1.50	1.115		1.17		0.63
41	M41-2				22		1.220					1.50			0.900				
30	M43-3	1	100		3	0.70	1.020	1.020	1.060	1.00	1.00		1.00	1.00	1.010		0.71		0.63
42	M42-1				22		1.020					1.00			0.900				
31	M43-3	1	100		3	0.70	1.020	1.020	1.060	1.50	1.00		1.50	1.50	1.010		1.06		0.63
42	M42-1				22		1.020					1.50			0.900				
32	M43-3	1	100		3	0.70	1.020	1.020	1.060	1.50	1.00		1.50	1.50	1.010		1.06		0.63
42	M42-1				22		1.020					1.50			0.900				
33	M39-1	1		0		0.70			1.000		1.00				1.100				0.63
39	M39-2																		
34	M22-2-1	1		0		0.70			1.000		1.00				1.100				0.63
22-2	M22-2-1																		

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

市単独工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）										
	上流側（下段）		砂基礎					埋戻土(RC-40)					流用土
	マノール番号		深さ	機械			人力	深さ	機械			人力	人力
				BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		(道路部)	BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		
		m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
40	M36-3	0.70	0.314		0.50		0.21			0.75			0.41
	+23.00						0.449						
41	M41-1	0.70	0.314		0.42		0.21			0.84			0.41
	M41-2						0.601						
41	M41-1	0.70	0.314		0.42		0.21			0.84			0.41
	M41-2						0.601						
41	M41-1	0.70	0.314		0.29		0.21			0.59			0.41
	M41-2						0.601						
41	M41-1	0.70	0.314		0.29		0.21			0.59			0.41
	M41-2						0.601						
41	M41-1	0.70	0.314		0.42		0.21			0.84			0.41
	M41-2						0.601						
41	M41-1	0.70	0.314		0.31		0.21			0.63			0.41
	M41-2						0.601						
42	M43-3	0.70	0.314		0.21		0.21			0.35			0.41
	M42-1						0.496						
42	M43-3	0.70	0.314		0.31		0.21			0.52			0.41
	M42-1						0.496						
42	M43-3	0.70	0.314		0.31		0.21			0.52			0.41
	M42-1						0.496						
39	M39-1	0.70											0.63
	M39-2							1.000					
22-2	M22-2-1	0.70											0.63
	M22-2-1							1.000					
計				0.00	3.48	0.00	2.10		0.00	6.47	0.00	0.00	5.36
				0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	3.48	0.00	2.10		0.00	6.47	0.00	0.00	5.36

汚水柵設置及び取付管工数量計算表

市単独工事

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	道路掘削延長	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧															
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層			
	マンホール番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40	軽集積材RC-30	再生砕石RC-40	再生砕石RC-40	再生砕石RC-40	再生砕石RC-40								再生集積材Aa（12）	再生集積材Ba（12）	再生集積材Ca（12）
			m	m	m	m		m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	t=29cm	t=16cm	t=16cm	t=10cm	t=22cm	t=35cm	m2	m2	m2	m2	m2	m2	t=5cm	t=3cm
40	M36-3 +23.00	2.40	4.80				0.70	1.68		0.08								1.68										1.68	
41	M41-1 M41-2	2.00	4.00				0.70	1.40		0.07								1.40										1.40	
41	M41-1 M41-2	2.00	4.00				0.70	1.40		0.07								1.40										1.40	
41	M41-1 M41-2	1.40	2.80				0.70	0.98		0.05								0.98										0.98	
41	M41-1 M41-2	1.40	2.80				0.70	0.98		0.05								0.98										0.98	
41	M41-1 M41-2	2.00	4.00				0.70	1.40		0.07								1.40										1.40	
41	M41-1 M41-2	1.50	3.00				0.70	1.05		0.05								1.05										1.05	
42	M43-3 M42-1	1.00	2.00				0.70	0.70		0.04								0.70										0.70	
42	M43-3 M42-1	1.50	3.00				0.70	1.05		0.05								1.05										1.05	
42	M43-3 M42-1	1.50	3.00				0.70	1.05		0.05								1.05										1.05	
39	M39-1 M39-2						0.70																						
22-2	M22-2-1 M22-2-1						0.70																						
		16.70	33.40	0.00	0.00	0.00		11.69	0.00	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.69	0.00	

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

市単独工事(夜間)

No. 1

[illegible]

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

市単独工事(夜間)

No. 2

[illegible]

管路土工数量計算表（本管リーブφ150mm用）

市単独工事(夜間)

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧															
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層			
			マンホールの番号	t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下		t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm	改良黒曜砕石RC-30 t=16cm	再生砕石RC-40 t=16cm	再生砕石RC-40 t=10cm	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=35cm							再生黒曜砕石 t=5cm (12%)	再生黒曜砕石 t=3cm (12%)	再生黒曜砕石 t=3cm (12%)
				m	m	m		m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
60	M61-3 M60-1	37.10	74.20				0.80	29.68		2.97				29.68												29.68			
40	+23.00 M40-1	19.80	39.60				0.80	15.84		0.79								15.84								15.84			
計		56.90	113.80	0.00	0.00	0.00		45.52	0.00	3.76	0.00	0.00	0.00	29.68	0.00	0.00	0.00	15.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	29.68	15.84	0.00	

管布設工数量計算表

内径	150	mm	PRP	No. 1
----	-----	----	-----	-------

[illegible]

組立 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管						
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調 整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁				直壁								管取付壁 底版付								
									T-25	T-14		5	10	15	15	30	45	60	30	60	90	120	150	180			60	90	120	150	180					
61路線より																																				
M61-3	8. 920	6. 954	PRP 150	1. 966	150	7. 740	78. 6	1			26																							1		
計								1			26																							1		

組立A 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管					
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調 整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁										管取付壁 底版付									
									T-25	T-14		5	10	15	15	45		60	30	60	90							60	90						
									下段:梯子付	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個							個	個					個	個
60路線より																																			
M60-1	9.450	8.486	PRP 150	0.964					1		24		1	1	1												1								
計									1		24		1	1	1												1								

A 1 号マンホール底部工数量計算表

No. 1

総マンホール数		1 箇所		平均管内径 150 mm	
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量
名称	規格	形態			合計数量
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.024	袋 0.600
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.175	1	0.175
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.474	1	0.474
	コンクリート量		0.095	1	0.095
	モルタル上塗り量	—○—	0.506		
	コンクリート量		0.091		
	モルタル上塗り量	—○—	0.538		
	コンクリート量	—○—	0.087		
	モルタル上塗り量	—○—	0.570		
	コンクリート量	—○—	0.082		

塩ビ製小口径マンホール材料計算表 (本管 φ150mm用)

No. 1

[illegible]

内副管工総括表（本管φ150mm用）

1.0式

形状寸法	工 種	細 目	計 算 式	数 量	単 位
別紙図面参照	内副管工(1)	M61-3	TA200 点検孔付	落差	
			=	1.013	1.000 個
			TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50		
			={(7.967 - 6.954)-(0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 -)}/ 0.500 = 1.476	2.000	個
	内副管工(2)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(3)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(4)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(5)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(6)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(7)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(8)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(9)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(10)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	バツフル	TA200	点検孔付	1.000	個
	〃	TB200		2.000	個
	直管布設延長	φ100	+ + + + + + + + + + =	L=	m
	副管用90°支管	φ100			個
	カラー	φ100	+ + + + + + + + + + =		個
	副管固定金具	φ100用	+ + + + + + + + + + =		個
	90°曲管	φ100			個
	ブレンエンド直管	φ100	+ + + + + + + + + +)/4m/本=		本
	下水キャップ	φ100			個

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

市单独工事

No. 1

[illegible]

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

市单独工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）										
	上流側（下段）		砂基礎					埋戻土(RC-40)					流用土
	マンホール番号		深さ	機械			人力	深さ	機械			人力	人力
				BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		(道路部)	BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		
	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3	
40	+23. 00	0. 70	0. 314		0. 52		0. 21			0. 71			0. 41
	M40-1					0. 406							
40	+23. 00	0. 70	0. 314		0. 50		0. 21		0. 68			0. 41	
	M40-1					0. 406							
									</				

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

市单独工事

No. 3

[illegible]

舗装工面積計算書（単独）

No. 1 / 3

夜間 切削オーバーレイ 60路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 8	20.00	4.20	80.5	
至: No. 9		3.85		
自: No. 9	20.00	3.85	77.5	
至: No. 10		3.90		
自: No. 10	5.00	3.90	19.5	
至: No. 10 + 5.00		3.90		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	45.00		177.5	

昼間 表層 41路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 3 + 5.00	5.00	2.95	14.8	
至: No. 3 + 10.00		2.95		
自: No. 3 + 10.00	10.00	2.95	29.5	
至: No. 4		2.95		
自: No. 4	20.00	2.95	56.0	
至: No. 5		2.65		
自: No. 5	20.00	2.65	50.5	
至: No. 6		2.40		
自: No. 6	19.30	2.40	49.7	
至: No. 6 + 19.30		2.75		
自: No. 6 + 19.30	0.70	2.75	2.8	
至: No. 7		5.15		
自: No. 7	10.00	5.15	25.8	
至: No. 7 + 10.00		0.00		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	85.00		229.1	
計	130.00		406.6	

舗装工面積計算書（単独）

No. 2 / 3

屋間 表層 35-1路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0	2.50	6.60	13.6	
至: No. 0 + 2.50		4.25		
自: No. 0 + 2.50	4.90	4.25	20.8	
至: No. 0 + 7.40		4.25		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	7.40		34.4	

屋間 表層 40路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0	20.00	4.20	83.0	
至: No. 1		4.10		
自: No. 1	20.00	4.10	82.0	
至: No. 2		4.10		
自: No. 2	1.40	4.10	5.7	
至: No. 2 + 1.40		4.10		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	41.40		170.7	
計	48.80		205.1	
合 計	178.80		611.7	

舗装工面積計算書（単独）

No. 3 / 3

屋間 表層 42路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0 至: No. 1	20.00	2.50 2.40	49.0	
自: No. 1 至: No. 1 + 9.00	9.00	2.40 2.35	21.4	
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	29.00		70.4	

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計				
計	29.00		70.4	
合 計	207.80		682.1	

単 位 数 量 計 算 書

昼間

細別	継手類	1.0式	
規格	PRP150	当り	
名称	算式	単位	数量
リブゴム可とうマンホール継手	150(拡張バンドタイプ)3.00	個	3.0

夜間

細別	継手類		1.0式
規格	PRP150		当り
名称	算式	単位	数量
リブゴム可とうマンホール継手	150 (拡張バンドタイプ)2.00	個	2.0

単 位 数 量 計 算 書

屋間

細別	組立マンホール工	1.0式
規格	1号組立人孔	当り

名称	算式	単位	数量
1号マンホール	削孔 PRP φ 150 1.00	箇所	1.0

屋間

細別	組立マンホール工	1.0式
規格	A1号組立人孔	当り

名称	算式	単位	数量
A1号マンホール	削孔 PRP φ 150 2.00	箇所	2.0

単 位 数 量 計 算 書

屋間

細別	内副管		1.0式	
規格	飛散防止板		当り	
名称	算式	単位	数量	
内副管取付工	段差1.0m以上～1.5m未満	2.00	箇所	2.0
	M36-3	1 箇所		
	M43-3	1 箇所		
バツフル	TA200 点検孔付	2.00	個	2.0
	M36-3	1 個		
	M43-3	1 個		
バツフル	TB200	4.00	個	4.0
	M36-3	2 個		
	M43-3	2 個		

屋間

細別	小型マンホール			1.0式	
規格	塩化ビニル製			当り	
名称	算式			単位	数量
小型マンホール工	起点中間形式	2.0m以下	2.00	箇所	2.0
小型マンホール工	起点中間形式	2.0m超～3.5m以下	1.00	箇所	1.0
小型マンホール工	起点落差形式	2.0m以下	1.00	箇所	1.0
小型マンホール工	起点落差形式	2.0m超～3.5m以下	1.00	箇所	1.0
リブ用本管自在継手	φ150		2.00	個	2.0
落差インパート用支管	300-150		2.00	個	2.0
人孔鉄蓋及び受枠	T-25 φ300		3.00	組	3.0

単 位 数 量 計 算 書

夜間

細別	組立マンホール		1.0式
規格	1号組立人孔		当り
名称	算式	単位	数量
1号マンホール	削孔 PRP φ 150 1.00	箇所	1.0

夜間

細別	組立マンホール		1.0式
規格	A1号組立人孔		当り
名称	算式	単位	数量
組立マンホール設置工	2m以下 1.00	箇所	1.0
無収縮早強性モルタル	25.0kg 0.60	袋	0.6
再生クラッシャーラン	RC-40 0.18	m3	0.2
コンクリート	18-8-40 (BB) 0.10	m3	0.1
モルタル上塗	1 : 2 0.47	m2	0.5
人孔鉄蓋及び受枠	φ 600 T-25 1.00	組	1.0
マンホール調整リング	φ 600 100mm 1.00	個	1.0
マンホール調整リング	φ 600 150mm 1.00	個	1.0
A1号マンホール	床版斜壁 600×900×150 1.00	個	1.0
A1号マンホール	管取付壁(底版付) 600/900×600 1.00	個	1.0

単 位 数 量 計 算 書

夜間

細別	内副管	1.0式
規格	飛散防止板	当り

名称	算式	単位	数量
内副管取付工	段差1.0m以上～1.5m未満 M61-3 1箇所 1.00	箇所	1.0
バッフル	TA200 点検孔付 M61-3 1個 1.00	個	1.0
バッフル	TB200 M61-3 2個 2.00	個	2.0

夜間

細別	小型マンホール	1.0式
規格	塩化ビニル製	当り

名称	算式	単位	数量
小型マンホール工	起点中間形式 2.0m以下 1.00	箇所	1.0
人孔鉄蓋及び受枠	T-25 φ300 1.00	組	1.0

単 位 数 量 計 算 書

昼間

細別	試掘調査			1.0箇所
規格	市道部 W=1.0m L=1.0m H=1.2m			当り
舗装版切断	1.00	×	4 = 4.00	m 4.0
舗装版破碎	1.00	×	1.00 = 1.00	m2 1.0
殻運搬	1.00	×	0.05 = 0.05	m3 0.1
殻処分			0.05	m3 0.1
掘削(機械)	1.00	×	1.00 × 0.85 = 0.85	m3 0.9
掘削(人力)	1.00	×	1.00 × 0.30 = 0.30	m3 0.3
埋戻し (流用土)	1.00	×	1.00 × 1.17 = 1.17	m3 1.2
RC-40	(1.17 - 1.15	×	0.90) × 1.20 = 0.16	m3 0.2
表層 t=3cm	1.00	×	1.00 = 1.00	m2 1.0

夜間

細別	試掘調査			1.0箇所
規格	県道部 W=1.0m L=1.0m H=1.0m			当り
舗装版切断	1.00	×	4 = 4.00	m 4.0
舗装版破碎	1.00	×	1.00 = 1.00	m2 1.0
殻運搬	1.00	×	0.10 = 0.10	m3 0.1
殻処分			0.10	m3 0.1
掘削(機械)	1.00	×	1.00 × 0.60 = 0.60	m3 0.6
掘削(人力)	1.00	×	1.00 × 0.30 = 0.30	m3 0.3
埋戻し (RC-40)	1.00	×	1.00 × 0.95 = 0.95	m3 1.0
土砂等運搬(機械)	1.00	×	1.00 × 0.60 = 0.60	m3 0.6
土砂等運搬(人力)	1.00	×	1.00 × 0.30 = 1.00	m2 1.0
表層 t=5cm	1.00	×	1.00 = 1.00	m2 1.0

単 位 数 量 計 算 書

夜間

細別	試掘調査			1.0式	
規格	インターロッキング 部 W=1.0m L=1.0m H=1.0m			当り	
名称	算式		単位	数量	
インターロッキング ブロック撤去	1.00 × 1.00 = 1.00		m2	1.0	
掘削(機械)	1.00 × 1.00 × 0.64 = 0.64		m3	0.6	
掘削(人力)	1.00 × 1.00 × 0.30 = 0.30		m3	0.3	
埋戻し (流用土)	1.00 × 1.00 × 0.97 = 0.97		m3	1.0	
RC-40	(0.97 - 0.94 × 0.90) × 1.20 = 0.15		m3	0.1	
表層 t=3cm	1.00 × 1.00 = 1.00		m2	1.0	

細別	家屋調査費			1.0式	
規格				当り	
名称	算式		単位	数量	
工作物 (事前調査)	100m2未満 3.00		箇所	3.0	
諸雑費等・その他原価・一般管理費等	1.00		式	1.0	

単 位 数 量 計 算 書

細別	借地料	1.0式			
規格		当り			
名称	算式	単位	数量	名称	算式
借地料	土地価格 円/m2 × / = 476.5 土地面積 円/m2/月 m2 月数 476.5 × × = 488,889 円	式	1.0		

令和4年度 下工公補第22号

津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事

数 量 総 括 表

(津北部第15-2処理分区補助対象工事)

レベル1 : 管路

レベル1 : 共通仮設

数 量 計 算 書						
補助対象工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位 数量
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間8時間)	管路土工	管路掘削	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	121.21	m3 121.2
		管路埋戻	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	73.88	m3 73.9
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	121.21	m3 121.2
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm	管布設工数量計算表より	111.80	m 111.8
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	111.80	m 111.8
		継手類		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
	管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	30.78	m3 30.8
	管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	24.75	m 24.8
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	24.75	m 24.8
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	6.20	m 6.2
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	6.20	m 6.2
		軽量鋼矢板賃料	H=2.0m		1.00	式 1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式 1.0

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位 数量
マンホール工(夜間8時間)	組立マンホール工	土留支保(軽量金属支保)設置	1段	管路土留工数量計算表より	24.75 m 24.8
		土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	管路土留工数量計算表より	24.75 m 24.8
		土留支保(軽量金属支保)設置	2段	管路土留工数量計算表より	6.20 m 6.2
		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	管路土留工数量計算表より	6.20 m 6.2
		支保材質料(腹起し)			1.00 式 1.0
		支保材質料(水圧式パイプサポート)			1.00 式 1.0
		支保材質料(水圧ポンプ)			1.00 式 1.0
	小型マンホール工	組立1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00 式 1.0
		内副管	飛散防止版	単位数量計算書参照	1.00 式 1.0
		小型マンホール	塩ビ製	単位数量計算書参照	1.00 式 1.0
	取付管およびます工(夜間8時間) 管路土工	管路掘削	機械 BH0.28 市道部取付管①	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より	4.57
			11.00 × 0.70 × (1.20 - 0.10)	= 8.47 計 13.04	m3 13.0

数 量 計 算 書						
補助対象工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位 数量
付帯工(夜間8時間)	ます設置工 取付管布設工	管路掘削	人力	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	1.89	m3 1.9
		管路埋戻	機械 BH0.28 市道部取付管①	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	2.70	
			11.00 × 0.70 × (1.20 - 0.314 - 0.35 - 0.05)			
				= 3.74		
				計 6.44		m3 6.4
		管路埋戻	人力	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	1.23	m3 1.2
		発生土処理	4t積 市道部取付管①	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	4.57	
			11.00 × 0.70 × (1.20 - 0.10)		= 8.47	
				計 13.04		m3 13.0
		発生土処理	2t積	1.89 - 1.23 / 0.9	= 0.52	m3 0.5
付帯工(夜間8時間)	舗装撤去工(本復旧)	ます(塩ビ製)	φ200	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	3.00	箇所 3.0
		取付管(塩ビ管)	φ100	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	3.00	箇所 3.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍	汚水枳設置及び取付管工数量計算表より	6.00	
				市道部取付管①	11.00	
				計 17.00		m 17.0
		舗装版切断	As 15cm以下 5.70 × 2		= 11.40	m 11.4

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装版破碎	As 15cm以下 舗装工面積計算書、管布設工数量計算表、汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 車道・乗入部 インターロッキング仮復旧 特殊ブロック 取付部仮復旧 $89.10 + 79.09 - 21.51 + 4.20 = 150.88$	m2	150.9
		殻運搬	本管仮復旧(車道・乗入部) $12.10 \times 0.03 = 0.36$ インターロッキング仮復旧 $(79.09 - 21.51) \times 0.03 = 1.73$ 取付管仮復旧 $4.20 \times 0.03 = 0.13$ 本復旧(車道・乗入部) $(89.10 - 12.10) \times 0.05 = 3.85$ 計 6.07	m3	6.1
		殻運搬	路面切削 As殻 舗装工面積計算書より 県道部 市道部 $(56.30 + 46.00) \times 0.05 = 5.12$	m3	5.1
		殻処分	$6.07 + 5.12 = 11.19$	m3	11.2
		特殊ブロック撤去	舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より $71.70 \times 0.30 = 21.51$	m2	21.5
	舗装撤去工(二次復旧)	舗装版切断	県道部66路線 $8.50 \times 2 = 17.00$ 市道部取付管① $11.00 \times 2 = 22.00$ 計 39.00	m	39.0

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装版破碎	As 15cm以下 県道部66路線 $8.50 \times 1.40 = 11.90$ 市道部取付管① $11.00 \times 1.30 = 14.30$ $\text{計 } 26.20$	m2	26.2
		殻運搬	$26.20 \times 0.10 - (8.50 \times 0.80 + 11.00 \times 0.70) \times 0.05 = 1.90$	m3	1.9
		殻処分	$= 1.90$	m3	1.9
	舗装撤去工(仮復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表より 市道部取付管① $11.00 \times 2.00 = 22.00$ $\text{計 } 61.40$	m	61.4
		舗装版破碎	As 15cm以下 管路土工数量計算表より 市道部取付管① $11.00 \times 0.70 = 7.70$ $\text{計 } 24.60$	m2	24.6
		殻運搬	As 4t積 管路土工数量計算表より 市道部取付管① $11.00 \times 0.70 \times 0.10 = 0.77$ $\text{計 } 1.87$	m3	1.9
		殻処分	As 管路土工数量計算表より 市道部取付管① $11.00 \times 0.70 \times 0.10 = 0.77$ $\text{計 } 1.87$	m3	1.9

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		特殊ブロック撤去	舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 71.70 × 0.30 = 21.51	m2	21.5
	管路土工(二次復旧)				
		掘削	県道部66路線 8.50 × 1.40 × 0.15 + 8.50 × 0.80 × 0.05 = 2.13 市道部取付管① 11.00 × 1.30 × 0.20 + 11.00 × 0.70 × 0.05 = 3.25 計 5.38	m3	5.4
		土砂等運搬	= 5.38	m3	5.4
	舗装復旧工(本復旧)				
		不陸整正	補足材 RC-40 t=1cm 舗装工面積計算書、管路土工数量計算表、汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 車道・乗入部 インターロッキング・特殊ブロック 取付部 89.10 + 79.09 + 4.20 = 172.39	m2	172.4
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 舗装工面積計算書より = 89.10	m2	89.1
		薄層カラー舗装	樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301 舗装工面積計算書より = 103.10	m2	103.1
		インターロッキングブロック撤去・再設置	流用品 舗装工面積計算書より 188.9 - 21.51 = 167.39	m2	167.4
		特殊ブロック設置	流用品 舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 71.70 × 0.30 = 21.51	m2	21.5

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		切削オーバーレイ	県道部 改質Ⅱ型密粒度As(20) t=5cm 舗装工面積計算書より	= 56.30	m2 56.3
		切削オーバーレイ	市道部 再生密粒度As(13) t=5cm 舗装工面積計算書より	= 46.00	m2 46.0
		舗装目地復旧	成形目地 t=4cm 8.50 + 4.25 + 6.00	= 18.75	m 18.8
	舗装復旧工(二次復旧)	不陸整正	補足材なし 県道部66路線 市道部取付管① 8.50 × 1.40 + 11.00 × 1.30	= 26.20	m2 26.2
		上層路盤	県道部66路線 再生粒度調整碎石RM-30 t=10cm 8.50 × 1.40	= 11.90	m2 11.9
		上層路盤	市道部取付管① 再生粒度調整碎石RM-30 t=15cm 11.00 × 1.30	= 14.30	m2 14.3
		基層	県道部66路線 市道部取付管① 再生粗粒度As(20) t=5cm 8.50 × 1.40 + 11.00 × 1.30	= 26.20	m2 26.2
		表層	県道部66路線 市道部取付管① 再生粗粒度As(20) t=5cm 8.50 × 1.40 + 11.00 × 1.30	= 26.20	m2 26.2
	舗装仮復旧工(仮復旧)	下層路盤	再生碎石RC-40 t=29cm 管路土工数量計算表より	6.80	m2 6.8

数 量 計 算 書					
補助対象工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		下層路盤	再生碎石RC-40 t=35cm 市道部取付管① 11.00 × 0.70 = 7.70	m2	7.7
		路盤	粒度調整碎石RM-30 t=16cm 管路土工数量計算表より = 1.84	m2	1.8
		路盤	再生碎石RC-40 t=16cm 管路土工数量計算表及び汚水樹設置及び取付管工数量計算表より 70.33 + 4.20 = 74.53	m2	74.5
		路盤	再生碎石RC-40 t=10cm 管路土工数量計算表より = 4.40	m2	4.4
		路盤	再生碎石RC-40 t=22cm 管路土工数量計算表より = 11.53	m2	11.5
		表層	再生密粒度As (13) t=5 cm 管路土工数量計算表より = 6.80 市道部取付管① 11.00 × 0.70 = 7.70 計 14.50	m	14.5
		表層	再生密粒度As (13) 2.35t/m3 t=3cm 管路土工数量計算表より 12.10	m2	12.1
		表層	再生密粒度As (13) 2.20t/m3 t=3cm 管路土工数量計算表及び汚水樹設置及び取付管工数量計算表より 79.09 - 21.51 + 4.20 = 61.78	m2	61.8
		特殊ブロック設置	舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 71.70 × 0.30 = 21.51	m2	21.5

管路土工数量計算表 (本管リブ $\phi 150\text{mm}$ 用)

補助対象工事

No. 1

路線 番号	下流側（上段） 上流側（下段）									区 間 距 離	現 況 厚	仮復旧 厚		掘 削 幅	下流側	上流側	平 均	掘 削 （上段:素掘 下段:矢板）					
	マンホール番号	マンホール 種 別	地盤高	流出高	流出 管径	人孔深	流入高	流入 管径	落差			表層	表層 基層		上層路盤 下層路盤	埋 戻 高	埋 戻 高	埋 戻 高	機 械				人 力
													掘削深		掘削深	掘削深	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45			
																					m	m	
66	既設M72-2-2	既設 1号 MH	8.630	6.531	150	2.099	7.677	150	114.6	8.50	10	5	29	0.80	0.72	0.72	0.720	0.960		6.53			
	+8.50	プラス点	8.790	7.834	150							1.06			1.06	1.060							
66	+8.50	プラス点	8.790	7.834	150		7.834	150	0.0	2.30	6	3	16	0.80	0.87	0.87	0.870	1.000		1.84			
	M66-1	塩ビ MH	8.830	7.877	150	0.953						1.06			1.06	1.060							
66	M66-1	塩ビ MH	8.830	7.877	150	0.953	7.877	150	0.0	10.80	6	3	16	0.80	0.87	1.08	0.975	1.105		9.55			
	M66-2	塩ビ MH	9.130	7.967	150	1.163						1.06			1.27	1.165							
62	M66-2	塩ビ MH	9.130	7.967	150	1.163	8.175	150	20.8	5.50	3	3	10	0.80	0.93	0.94	0.935	1.035		4.55			
	M62-1	塩ビ MH	9.350	8.379	150	0.971						1.06			1.07	1.065							
62	M62-1	塩ビ MH	9.350	8.379	150	0.971	8.379	150	0.0	8.00	8	3	22	0.80	0.82	1.01	0.915	1.085		6.94			
	+8.00	プラス点	9.760	8.603	150							1.07			1.26	1.165							
62	+8.00	プラス点	9.760	8.603	150		8.603	150	0.0	26.45	6	3	16	0.80	1.07	1.31	1.190	1.320		27.93			
	+34.45	プラス点	10.740	9.344	150							1.26			1.50	1.380							
62	+34.45	プラス点	10.740	9.344	150		9.344	150	0.0	19.05	6	3	16	0.90	1.31	1.55	1.430	1.560		26.75			
	+53.50	プラス点	11.510	9.877	150							1.50			1.74	1.620							
62	+53.50	プラス点	11.510	9.877	150		9.877	150	0.0	2.00	5	3	22	0.90	1.49	1.51	1.500	1.700		3.06			
	M62-2	1号 MH	11.590	9.933	150	1.657						1.74			1.76	1.750							
62	M62-2	1号 MH	11.590	9.933	150	1.657	9.953	150	2.0	3.70	5	3	22	0.90	1.49	1.77	1.630	1.830		6.09			
	+3.70	プラス点	11.880	9.964	150							1.74			2.02	1.880							
62	+3.70	プラス点	11.880	9.964	150		9.964	150	0.0	6.20	6	3	16	0.90	1.83	2.29	2.060	2.190		12.22			
	M62-3	塩ビ MH	12.360	9.983	150	2.377						2.02			2.48	2.250							
62	M62-3	塩ビ MH	12.360	9.983	150	2.377	11.607	150	162.4	22.25	6	3	16	0.80	0.67	0.84	0.755	0.885		15.75			
	+22.25	プラス点	13.520	12.595	150							0.86			1.03	0.945							

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

補助対象工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	掘 削 幅	埋戻し（上段：素掘 下段：矢板）											
	上流側（下段）			管基礎（砕石基礎（RC-40））						埋戻土（RC-40）					
	マホールの番号						機 械			人 力	機 械			人 力	
				マホールの減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
66	既設M72-2-2	8.50	0.80	0.450				2.14					2.48		
	+8.50			0.000	8.05	0.356			0.364						
66	+8.50	2.30	0.80	0.000				0.56					0.95		
	M66-1			0.200	2.10	0.356			0.514						
66	M66-1	10.80	0.80	0.200				2.76					5.35		
	M66-2			0.200	10.40	0.356			0.619						
62	M66-2	5.50	0.80	0.200				1.36					2.55		
	M62-1			0.200	5.10	0.356			0.579						
62	M62-1	8.00	0.80	0.200				2.07					3.58		
	+8.00			0.000	7.80	0.356			0.559						
62	+8.00	26.45	0.80	0.000				7.03					17.65		
	+34.45			0.000	26.45	0.356			0.834						
62	+34.45	19.05	0.90	0.000											
	+53.50			0.000	19.05	0.356		5.74		1.074		18.41			
62	+53.50	2.00	0.90	0.000											
	M62-2			0.450	1.55	0.356		0.47		1.144		2.06			
62	M62-2	3.70	0.90	0.450											
	+3.70			0.000	3.25	0.356		0.98		1.274		4.24			
62	+3.70	6.20	0.90	0.000											
	M62-3			0.200	6.00	0.356		1.81		1.704		9.51			
62	M62-3	22.25	0.80	0.200				5.86					7.10		
	+22.25			0.000	22.05	0.356			0.399						

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

補助対象工事

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧														
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層		
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm	改良黒色砕石RC-30 t=16cm	再生砕石RC-40 t=16cm	再生砕石RC-40 t=10cm	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=35cm							再生黒色砕石A（10） t=5cm	再生黒色砕石A（10） t=3cm	再生黒色砕石A（10） t=3cm
			m	m	m	m		m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
66	既設M72-2-2 +8.50	8.50	17.00				0.80	6.80		0.68				6.80												6.80		
66	+8.50 M66-1	2.30					0.80								1.84													1.84
66	M66-1 M66-2	10.80					0.80									8.64												8.64
62	M66-2 M62-1	5.50	11.00				0.80	4.40		0.13							4.40											4.40
62	M62-1 +8.00	8.00					0.80											6.40								6.40		
62	+8.00 +34.45	26.45					0.80									21.16												21.16
62	+34.45 +53.50	19.05					1.00										17.15											19.05
62	+53.50 M62-2	2.00	4.00				1.00	2.00		0.10								1.80								2.00		
62	M62-2 +3.70	3.70	7.40				1.00	3.70		0.19								3.33								3.70		
62	+3.70 M62-3	6.20					1.00										5.58										6.20	
62	M62-3 +22.25	22.25					0.80										17.80										17.80	
計		114.75	39.40	0.00	0.00	0.00		16.90	0.00	1.10	0.00	0.00	0.00	6.80	1.84	70.33	4.40	11.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.80	12.10	79.09

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番 号	マンホール 種 別	平均 掘削深	人孔間 距 離	マンホール 控除長	管体 延長					
							マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バントタイプ [°]	貼付タイプ [°]			
	下流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
	上流側										
66	既設M72-2-2	既設 1号 MH	1.060	8.50	0.45	8.05		1			1
	+8.50	プラス点									
66	+8.50	プラス点	1.060	2.30	0.20	2.10					
	M66-1	塩ビ [°] MH									
66	M66-1	塩ビ [°] MH	1.165	10.80	0.40	10.40					
	M66-2	塩ビ [°] MH									
62	M66-2	塩ビ [°] MH	1.065	5.50	0.40	5.10					
	M62-1	塩ビ [°] MH									
62	M62-1	塩ビ [°] MH	1.165	8.00	0.20	7.80					
	+8.00	プラス点									
62	+8.00	プラス点	1.380	26.45		26.45					
	+34.45	プラス点									
62	+34.45	プラス点	1.620	19.05		19.05					
	+53.50	プラス点									
62	+53.50	プラス点	1.750	2.00	0.45	1.55	1				
	M62-2	1号 MH									
62	M62-2	1号 MH	1.880	3.70	0.45	3.25	1				
	+3.70	プラス点									
62	+3.70	プラス点	2.250	6.20	0.20	6.00					
	M62-3	塩ビ [°] MH									
62	M62-3	塩ビ [°] MH	0.945	22.25	0.20	22.05					
	+22.25	プラス点									
計				114.75	2.95	111.80	2	1			1

管路土留工数量計算表（本管リブφ150mm用）

No. 1

路線 番号	マンホール 種 別	区間 距離	掘 削 深	平 掘 均 削 深	掘 削 幅	軽量鋼矢板建込・引抜工						軽量鋼矢板						軽量金属製支保工								
						H=1.5m以下	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=3.8m以下	L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	1 段			2 段			3 段		
																		W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=
下流側（上段）	上流側（下段）	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
	既設M72-2-2		1.060																							
66	+8.50	8.50	1.060	1.060	0.80																					
	+8.50		1.060																							
66	M66-1	2.30	1.060	1.060	0.80																					
	M66-1		1.060																							
66	M66-2	10.80	1.270	1.165	0.80																					
	M66-2		1.060																							
62	M62-1	5.50	1.070	1.065	0.80																					
	M62-1		1.070																							
62	+8.00	8.00	1.260	1.165	0.80																					
	+8.00		1.260																							
62	+34.45	26.45	1.500	1.380	0.80																					
	+34.45		1.500																							
62	+53.50	19.05	1.740	1.620	0.90		19.05						19.05					19.05								
	+53.50		1.740																							
62	M62-2	2.00	1.760	1.750	0.90		2.00						2.00					2.00								
	M62-2		1.740																							
62	+3.70	3.70	2.020	1.880	0.90		3.70						3.70					3.70								
	+3.70		2.020																							
62	M62-3	6.20	2.480	2.250	0.90		6.20						6.20					6.20								
	M62-3		0.860																							
62	+22.25	22.25	1.030	0.945	0.80																					
計		114.75					24.75	6.20					21.05	9.90				24.75				6.20				

組立 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管						
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調 整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁		直壁								管取付壁 底板付										
									T-25 下段:梯子付	T-14		5	10	15		15	30	45	60	30	60	90	120	150	180			60			90	120	150	180		
62路線より								個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	
M62-2	11.590	9.933	PRP 150	1.657	150	9.953	2.0	1	1		17	1					1														1					
計								1	1		17	1				1														1						

1 号マンホール底部工数量計算表

No. 1

総マンホール数		1 箇所		平均管内径 150 mm	
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量
名称	規格	形態			合計数量
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.017	袋 0.425
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.209	1	0.209
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.675		上塗り量
	コンクリート量		0.138		
	モルタル上塗り量	—○—	0.713	1	0.713
	コンクリート量		0.133	1	0.133
	モルタル上塗り量	—○—	0.752		コンクリート量
	コンクリート量		0.128		
	モルタル上塗り量	—○—	0.790		
	コンクリート量		0.123		m3 0.13

内副管工総括表（本管φ150mm用）

1.0式

形状寸法	工 種	細 目	計 算 式	数 量	単 位
別紙図面参照	内副管工(1)	既設M72-2-2	TA200 点検孔付	落差	
			=	1.146	1.000 個
			TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50		
			=((7.677 - 6.531)-(0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 - 0.150))/ 0.500 = 2.042	3.000	個
	内副管工(2)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(3)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(4)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(5)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(6)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(7)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(8)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(9)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(10)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	バツフル	TA200	点検孔付	1.000	個
	〃	TB200		3.000	個
	直管布設延長	φ100	+ + + + + + + + + + =	L=	m
	副管用90°支管	φ100			個
	カラー	φ100	+ + + + + + + + + + =		個
	副管固定金具	φ100用	+ + + + + + + + + + =		個
	90°曲管	φ100			個
	ブレンエンド直管	φ100	+ + + + + + + + + +)/4m/本=		本
	下水キャップ	φ100			個

塩ビ製小口径マンホール材料計算表 (本管φ150mm用)

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			マンホール蓋 (台座付)及び 沈下防止板 φ 3 0 0		インバート					自在継手 15°	落差 インバート用 支管	下水 キャップ φ 150
		管底高	管種 管径		管径	管底高	落差	T-25 組	T-14 組	ストレート 起点 KT	ストレート 中間 ST	曲点 L	合流	落差 立管一体型			
m	m	mm	m	mm	m	cm			個	個	個	個	個	個	個	個	
66路線より M66-1	8.830	7.877	PRP 150	0.953	150	7.877	0		1				1			1	
66路線より M66-2	9.130	7.967	PRP 150	1.163	150	8.175	20.8		1						1		1
62路線より M62-1	9.350	8.379	PRP 150	0.971	150	8.379	0	1					1			1	
62路線より M62-3	12.360	9.983	PRP 150	2.377	150	11.607	162.4		1						1		1

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 1

[illegible]

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）										
	上流側（下段）		砂基礎					埋戻土(RC-40)					流用土
	マシナル番号		深さ	機械			人力	深さ	機械			人力	人力
				BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		(道路部)	BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		
		m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
62	+8.00	0.70	0.314		0.84		0.21			1.70			0.41
	+34.45						0.608						
62	+34.45	0.70	0.314		0.21		0.21			0.51			0.41
	+53.50						0.728						
62	+3.70	0.70	0.314		0.21		0.21			0.49			0.41
	M62-3						0.696						
計				0.00	1.26	0.00	0.63		0.00	2.70	0.00	0.00	1.23
				0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	1.26	0.00	0.63		0.00	2.70	0.00	0.00	1.23

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

補助対象工事		No. 3																											
路線 番号	下流側（上段）	道路掘削延長 m	舗装切断				舗装幅 m	舗装版取壊						仮復旧															
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層			
	マノール番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)							再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)	再生砕石(t=40)	
			m	m	m	m		m2	m2	m3	m2	m2	m3	t=29cm	t=16cm	t=16cm	t=10cm	t=22cm	t=35cm							t=5cm	t=3cm	t=3cm	
			m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
62	+8.00 +34.45	4.00					0.70									2.80													2.80
62	+34.45 +53.50	1.00					0.70									0.70													0.70
62	+3.70 M62-3	1.00					0.70									0.70													0.70
			6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.20	

舗装工面積計算書（補助）

No. 1 / 3

インターロッキングブロック 66路線・62路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (㎡)	備 考	測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (㎡)	備 考
自: No. 0	8.70	2.50	25.9		自:				
至: No. 0 + 8.70		3.45			至:				
自: No. 0 + 19.50	0.50	2.55	1.3		自:				
至: No. 1		2.55			至:				
自: No. 1	17.50	2.55	45.9		自:				
至: No. 1 + 17.50		2.70			至:				
自: No. 2 + 14.80	5.20	2.60	13.4		自:				
至: No. 3		2.55			至:				
自: No. 3	10.50	2.55	28.1		自:				
至: No. 3 + 10.50		2.80			至:				
自: No. 3 + 16.20	3.80	2.80	10.6		自:				
至: No. 4		2.80			至:				
自: No. 4	20.00	2.80	51.0		自:				
至: No. 5		2.30			至:				
自: No. 5	5.50	2.30	12.7		自:				
至: No. 5 + 5.50		2.30			至:				
自:					自:				
至:					至:				
自:					自:				
至:					至:				
自:					自:				
至:					至:				
自:					自:				
至:					至:				
自:					自:				
至:					至:				
自:					自:				
至:					至:				
自:					自:				
至:					至:				
小 計	71.70		188.9		小 計				

舗装工面積計算書（補助）

No. 2 / 3

表層（車道・乗入部） 62路線

測 点	距 離（m）	幅（m）	面 積（㎡）	備 考
乗入部				
自： No. 0 + 8.70 至： No. 0 + 19.50	10.80	2.70 2.55	28.4	
自： No. 1 + 17.50 至： No. 2	2.50	2.70 2.55	6.6	
自： No. 2 至： No. 2 + 14.80	14.80	2.55 2.60	38.1	
車道部				
自： No. 3 + 10.50 至： No. 3 + 16.20	5.70	2.80 2.80	16.0	
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
小 計	33.80		89.1	

薄層カラー舗装 62路線

測 点	距 離（m）	幅（m）	面 積（㎡）	備 考
自： No. 0 + 8.70 至： No. 0 + 19.50	10.80	2.70 2.55	28.4	
自： No. 1 + 17.50 至： No. 2	2.50	2.70 2.55	6.6	
自： No. 2 至： No. 2 + 14.80	14.80	2.55 2.60	38.1	
取付管①				
自： No. 1 + 8.00 至： No. 1 + 13.00	5.00	6.00 6.00	30.0	
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
自： 至：				
小 計	33.10		103.1	

舗装工面積計算書（補助）

No. 3 / 3

切削オーバーレイ 県道部 66路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0 至: No. 0 + 6.00	6.00	8.50 10.25	56.3	
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	6.00		56.3	

切削オーバーレイ 市道部(河辺町賛崎線) 62路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 1 + 8.00 至: No. 1 + 13.00	5.00	9.20 9.20	46.0	
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	5.00		46.0	

単 位 数 量 計 算 書

細別	継手類		1.0式	細別	組立マンホール		1.0式
規格	PRP150		当り	規格	1号組立人孔		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
リブゴム可とうマンホール継手	150(拡張バンドタイプ) 2.00	個	2.0	組立マンホール設置工	3m以下 1.00	箇所	1.0
リブゴム可とうマンホール継手	150(貼付タイプ) 1.00	個	1.0	無収縮早強性モルタル	25.0kg 0.43	袋	0.4
				再生クラッシャーラン	RC-40 0.21	m2	0.2
				コンクリート	18-8-40(BB) 0.13	m3	0.1
				モルタル上塗	1:2 0.71	m2	0.7
				1号マンホール	削孔 PRPφ150 1.00	箇所	1.0
				人孔鉄蓋及び受枠	φ600 T-25 1.00	組	1.0
				マンホール調整リング	φ600 50mm 1.00	個	1.0
				1号マンホール	斜壁 600×900×450 1.00	個	1.0
				1号マンホール	管取付壁(底版付) 900×1200 1.00	個	1.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	小型マンホール				1.0式
規格	塩化ビニル製				当り
名称	算式			単位	数量
小型マンホール工	起点中間形式	2.0m以下	2.00	箇所	2.0
小型マンホール工	起点落差形式	2.0m以下	1.00	箇所	1.0
小型マンホール工	起点落差形式	2.0m超～3.5m以下	1.00	箇所	1.0
リフ用本管自在継手	φ150		2.00	個	2.0
落差パイパート用支管	300-150		2.00	個	2.0
人孔鉄蓋及び受枠	T-14 φ300		3.00	組	3.0
人孔鉄蓋及び受枠	T-25 φ300		1.00	組	1.0

細別	内副管				1.0式
規格	飛散防止板				当り
名称	算式			単位	数量
内副管取付工	段差1.0m以上～1.5m未満	1.00		箇所	1.0
	既設M72-2-2	1		箇所	
バツフル	TA200 点検孔付	1.00		個	1.0
	既設M72-2-2	1		個	
バツフル	TB200	3.00		個	3.0
	既設M72-2-2	3		個	

單位數量計算書

細別	家屋調査費		1.0式	細別			1.0式
規格			当り	規格			当り
名称	算式	単位	数量				
工作物 (事前調査)	2.00	箇所	2.0				
諸経費等・その他原価・一般管理費等	1.00	式	1.0				

令和4年度 下工公補第22号

津北部第15-1処理分区及び津北部第15-2処理分区公共下水道工事

数量総括表

(津北部第15-2処理分区市単独工事)

レベル1 : 管路

レベル1 : 共通仮設

数 量 計 算 書						
市単独工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位 数量
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間8時間)	管路土工	管路掘削	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	118.57	m3 118.6
		管路埋戻	機械 BH0. 28	管路土工数量計算表より	71.46	m3 71.5
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	118.57	m3 118.6
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm	管布設工数量計算表より	97.90	m 97.9
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	97.90	m 97.9
		継手類		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
	管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	27.59	m3 27.6
	管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	45.10	m 45.1
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	45.10	m 45.1
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式 1.0
		軽量鋼矢板整備費	2班体制分 1.363 + 1.704 = 3.067 t		1.00	式 1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	1段	管路土留工数量計算表より	45.10	m 45.1

数 量 計 算 書									
市単独工事									
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)		単位	数量			
マンホール工(夜間8時間)	組立マンホール工	土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	管路土留工数量計算表より	45.10	m	45.1		
		支保材質料(腹起し)			1.00	式	1.0		
		支保材質料(水圧式パイプサポート)			1.00	式	1.0		
		支保材質料(水圧ポンプ)			1.00	式	1.0		
		支保材基本料	2班体制分		1.00	式	1.0		
	小型マンホール工	組立A1号マンホール		単位数量計算書参照	1.00	式	1.0		
		内副管	飛散防止板	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0		
		小型マンホール	塩ビ製	単位数量計算書参照	1.00	式	1.0		
		取付管およびます工(夜間8時間)	管路土工	管路掘削	機械 BH0.28	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より	6.61		
					市道部取付管④				
	県道部取付管⑥								
			9.00 × 0.70 × (1.08 - 0.10)	=	6.17				
			2.00 × 0.80 × (2.12 - 0.10)	=	3.23				
				計	16.01	m3	16.0		
		管路掘削	人力	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より	2.52	m3	2.5		

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		管路埋戻	機械 BH0.28 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 4.13 市道部取付管④ $9.00 \times 0.70 \times (1.08 - 0.314 - 0.35 - 0.05) = 2.31$ 県道部取付管⑥ $2.00 \times 0.80 \times (2.12 - 0.314 - 0.29 - 0.05) = 2.35$ 計 8.79	m3	8.8
		管路埋戻	人力 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 1.86	m3	1.9
		発生土処理	4t積 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 6.61 市道部取付管④ $9.00 \times 0.70 \times (1.08 - 0.10) = 6.17$ 県道部取付管⑥ $2.00 \times 0.80 \times (2.12 - 0.10) = 3.23$ 計 16.01	m3	16.0
		発生土処理	2t積 $2.52 - 1.86 / 0.9 = 0.50$	m3	0.5
		ます設置工			
		ます(塩ビ製)	φ200 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 3.00	箇所	3.0
		取付管(塩ビ管)	φ100 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 3.00	箇所	3.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍 汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 8.00 市道部取付管④ 9.00 県道部取付管⑥ 2.00 計 19.00	m	19.0

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
付帯工(夜間8時間)	管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下 6.00	m	6.0
		軽量鋼矢板引込	掘削深2.0m以下 6.00	m	6.0
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m 1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	1段 6.00	m	6.0
		土留支保(軽量金属支保)撤去	1段 6.00	m	6.0
		支保材賃料(腹起し)	1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式パイプサポート)	1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ポンプ)	1.00	式	1.0
	舗装撤去工(本復旧)	舗装版破碎	As 15cm以下		
			管路土工数量計算表、汚水柵設置及び取付管工数量計算表より		
			インターロッキング仮復旧 特殊ブロック 取付部仮復旧		
			35.28 - 12.42 + 5.60 = 28.46	m2	28.5
		殻運搬	インターロッキング仮復旧		
			(35.28 - 12.42) × 0.03 = 0.69		
			取付管仮復旧		
			5.60 × 0.03 = 0.17		
			計 0.86	m3	0.9

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻運搬	路面切削 As殻 舗装工面積計算書より 県道部 市道部 (209.20 + 304.50) × 0.05	25.69 m3	25.7
		殻処分	0.86 + 25.69	26.55 m3	26.6
		特殊ブロック撤去	舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 41.40 × 0.30	= 12.42 m2	12.4
	舗装撤去工(二次復旧)				
		舗装版切断	県道部・県道部取付管⑥ (45.10 + 2.00) × 2 市道部・市道部取付管④ (11.00 + 9.00) × 2	= 94.20 = 40.00 計 134.20	m 134.2
		舗装版破碎	As 15cm以下 県道部・県道部取付管⑥ 45.10 × 1.50 + 2.00 × 1.40 市道部・市道部取付管④ 11.00 × 1.40 + 9.00 × 1.30	= 70.45 = 27.10 計 97.55	
		殻運搬	70.45 × 0.10 -(45.10 × 0.90 + 2.00 × 0.80) × 0.05 27.10 × 0.10 -(11.00 × 0.80 + 1.40 × 0.70) × 0.05	= 4.94 = 2.22 計 7.16	m2 7.2
		殻処分		= 7.16 m2	

数 量 計 算 書						
市単独工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			
	舗装撤去工(仮復旧)	舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表より 市道部取付管④ 県道部取付管⑥	9.00 × 2 2.00 × 2	= 112.20 = 18.00 = 4.00 計 134.20	m 134.2
		舗装版破碎	As 15cm以下 管路土工数量計算表より 市道部取付管④ 県道部取付管⑥	9.00 × 0.70 2.00 × 0.80	= 53.90 = 6.30 = 1.60 計 61.80	m2 61.8
		殻運搬	As 4t積 管路土工数量計算表より 市道部取付管④ 県道部取付管⑥	9.00 × 0.70 × 0.10 2.00 × 0.80 × 0.10	= 5.39 = 0.63 = 0.16 計 6.18	m3 6.2
		殻処分	As 管路土工数量計算表より 市道部取付管④ 県道部取付管⑥	9.00 × 0.70 × 0.10 2.00 × 0.80 × 0.10	= 5.39 = 0.63 = 0.16 計 6.18	m3 6.2
		特殊ブロック撤去	舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 41.40 × 0.30		= 12.42	m2 12.4
	管路土工(二次復旧)	掘削	県道部・県道部取付管⑥ (45.10 × 1.50 + 2.00 × 1.40) × 0.15 + (45.10 × 0.90 + 2.00 × 0.80) × 0.05		= 12.68	

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			市道部・市道部取付管④ $(11.00 \times 1.40 + 9.00 \times 1.30) \times 0.15 +$ $(11.00 \times 0.80 + 9.00 \times 0.70) \times 0.05$ = 4.82 計 17.50	m3	17.5
		土砂等運搬		= 17.50	m3 17.5
	舗装復旧工(本復旧)	不陸整正	補正材 RC-40 t=1cm 管路土工数量計算表、汚水柵設置及び取付管工数量計算表より インターロッキング・特殊ブロック 取付部 35.28 + 5.60 = 40.88	m2	40.9
		薄層カラー舗装	樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301 舗装工面積計算書より = 168.00	m2	168.0
		インターロッキングブロック撤去・再設置	流用品 舗装工面積計算書より 77.00 - 12.42 = 64.58	m2	64.6
		特殊ブロック設置	流用品 舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 41.40 × 0.30 = 12.42	m2	12.4
		切削オーバーレイ	県道部 改質Ⅱ型密粒度As(20) t=5cm 舗装工面積計算書より = 209.20	m2	209.2
		切削オーバーレイ	市道部 再生密粒度As(13) t=5cm 舗装工面積計算書より = 304.50	m2	304.5

数 量 計 算 書						
市単独工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
		舗装目地復旧	成形目地 t=4cm 51.00 + 45.00 + 4.25 + 3.90 = 104.15	m	104.2	
	舗装復旧工(二次復旧)	不陸整正	補足材なし 県道部・県道部取付管⑥ 45.10 × 1.50 + 2.00 × 1.40 = 70.45 市道部・市道部取付管④ 11.00 × 1.40 + 9.00 × 1.30 = 27.10 計 97.55	m2	97.6	
		上層路盤	県道部 再生粒度調整碎石RM-30 t=10cm 45.10 × 1.50 + 2.00 × 1.40 = 70.45	m2	70.5	
		上層路盤	市道部 再生粒度調整碎石RM-30 t=15cm 11.00 × 1.40 + 9.00 × 1.30 = 27.10	m2	27.1	
		基層	再生密粒度As(20) t=5cm 県道部・県道部取付管⑥ 45.10 × 1.50 + 2.00 × 1.40 = 70.45 市道部・市道部取付管④ 11.00 × 1.40 + 9.00 × 1.30 = 27.10 計 97.55	m2	97.6	
		表層	再生密粒度As(20) t=5cm 県道部・県道部取付管⑥ 45.10 × 1.50 + 2.00 × 1.40 = 70.45 市道部・市道部取付管④ 11.00 × 1.40 + 9.00 × 1.30 = 27.10 計 97.55	m2	97.6	

数 量 計 算 書					
市単独工事					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	舗装仮復旧工(仮復旧)				
		下層路盤	再生砕石RC-40 t=29cm 管路土工数量計算表より 県道部取付管⑥ 2.00 × 0.80 = 1.60 計 42.19	m2	42.2
		下層路盤	再生砕石RC-40 t=35cm 管路土工数量計算表より 市道部取付管④ 9.00 × 0.70 = 6.30 計 15.10	m2	15.1
		路盤	再生砕石RM-30 t=16cm 管路土工数量計算表より 10.08	m2	10.1
		路盤	再生砕石RC-40 t=16cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 25.20 + 5.60 = 30.80	m2	30.8
		表層	再生密粒度As (13) t=5 cm 管路土工数量計算表より 県道部取付管⑥ 2.00 × 0.80 = 1.60 市道部取付管④ 9.00 × 0.70 = 6.30 計 61.80	m2	61.8
		表層	再生密粒度As (13) 2.20t/m3 t=3cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 35.28 + 5.60 = 40.88	m2	40.9
		特殊ブロック設置	流用品 舗装工面積計算書(インターロッキング延長)より 41.40 × 0.30 = 12.42	m2	12.4

数 量 計 算 書						
市単独工事						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位 数量
仮設工(夜間8時間) 共通仮設費	区画線工	溶融式区画線	実線W150 白 外側線	30.00	= 30.00	m 30.0
		溶融式区画線	矢印記号文字W150 白 横断歩道	13.00 × 1.5	= 19.50	m 19.5
		溶融式区画線	矢印記号文字W150 黄 最高速度規制 40	19.80	= 19.80	m 19.8
		高視認性区画線	センターラインW150 黄	30.00	= 30.00	m 30.0
	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B		78.00	人日 78.0
		運搬費	仮設材運搬費	2班体制分 3.067 t	1.00	式 1.0
	事業損失防止施設費	仮設材等積込み取卸し	2班体制分	3.067 t	1.00	式 1.0
		試掘調査	夜間 インターロッキング部	単位数量計算書参照	5.00	箇所 5.0
		試掘調査	夜間 県道部	単位数量計算書参照	2.00	箇所 2.0
		家屋調査費		単位数量計算書参照	1.00	式 1.0
		技術管理費	本管TV調査	夜間 内径800mm未満 管布設工数量計算表より	97.90	m 97.9

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

市単独工事

No. 1

路線 番号	下流側（上段） 上流側（下段）									区 間 距 離	現 況 厚	仮復旧 厚		掘 削 幅	下流側 埋戻高 掘削深	上流側 埋戻高 掘削深	平 均 埋戻高 掘削深	掘 削 （上段:素掘 下段:矢板）						
	マンホール番号	マンホール 種 別	地盤高 m	流出高 m	流出 管径 mm	人孔深 m	流入高 m	流入 管径 mm	落差 cm			機 械						人 力						
												表層	基層		上層路盤 下層路盤	深さ	BH0.13		BH0.28	BH0.45				
																					cm	cm	cm	m
62	+22.25	プラス点	13.520	12.595	150		12.595	150	0.0	16.00	6	3		0.80	0.84	0.97	0.905	1.035		13.25				
	M62-4	塩ビ MH	14.360	13.305	150	1.055							16		1.03	1.16	1.095							
65	M66-2	塩ビ MH	9.130	7.967	150	1.163	8.017	150	5.0	11.00	10	5		0.80	0.82	0.91	0.865	1.165		10.25				
	+11.00	プラス点	9.260	8.050	150								35		1.22	1.31	1.265							
	+11.00	プラス点	9.260	8.050	150		8.050	150	0.0				3				1.12						1.14	1.130
65	M65-1	塩ビ MH	9.290	8.059	150	1.231				2.90	6		16	0.80	1.31	1.33	1.320	1.260		2.92				
	M65-1	塩ビ MH	9.290	8.059	150	1.231	8.109	150	5.0				3				1.09						0.87	0.980
	M64-1	塩ビ MH	9.100	8.147	150	0.953							16		0.80	1.28	1.06						1.170	1.110
64	M64-1	塩ビ MH	9.100	8.147	150	0.953	8.147	150	0.0	12.60	6	3		0.80	0.87	0.92	0.895	1.025		10.33				
	M64-2	塩ビ MH	9.330	8.323	150	1.007							16		0.80	1.06	1.11						1.085	
69	既設M72-1-1	既設 A1号 MH	8.670	6.558	150	2.112	7.172	150	61.4	45.10	10	5		0.90	1.26	1.74	1.500	1.740		70.63				
	M69-1	A1号 MH	9.280	7.307	150	1.973							29		1.60	2.08	1.840							
計										100.20										0.00	47.94	0.00	0.00	
素堀・矢板計																			0.00	118.57	0.00	0.00		

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

市単独工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）											
	上流側（下段）			管基礎(砕石基礎(RC-40))						埋戻土(RC-40)					
							機 械			人 力	機 械			人 力	
				マホールの減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
62	+22.25	16.00	0.80	0.000				4.20					7.03		
	M62-4			0.200	15.80	0.356				0.549					
65	M66-2	11.00	0.80	0.200				2.87					4.48		
	+11.00			0.000	10.80	0.356			0.509						
65	+11.00	2.90	0.80	0.000				0.72					1.80		
	M65-1			0.200	2.70	0.356			0.774						
64	M65-1	12.60	0.80	0.200				3.24					6.29		
	M64-1			0.200	12.20	0.356			0.624						
64	M64-1	12.60	0.80	0.200				3.24					5.43		
	M64-2			0.200	12.20	0.356			0.539						
69	既設M72-1-1	45.10	0.90	0.450											
	M69-1			0.450	44.20	0.356		13.32		1.144		46.43			
計		100.20					0.00	14.27	0.00	0.00		0.00	25.03	0.00	0.00
					0.00	13.32	0.00	0.00		0.00	46.43	0.00	0.00		
素掘・矢板計							0.00	27.59	0.00	0.00		0.00	71.46	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

市単独工事

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧														
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤						上層路盤			基層			表層		
	マノール番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm	改良調整砕石RC-30 t=16cm	再生砕石RC-40 t=16cm	再生砕石RC-40 t=10cm	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=35cm							再生調整砕石（10） t=5cm	再生調整砕石（10） t=3cm	再生調整砕石（10） t=3cm
			m	m	m	m		m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
62	+22.25 M62-4	16.00					0.80																					12.80
65	M66-2 +11.00	11.00	22.00				0.80	8.80		0.88									8.80							8.80		
65	+11.00 M65-1	2.90					0.80								2.32													2.32
64	M65-1 M64-1	12.60					0.80								10.08													10.08
64	M64-1 M64-2	12.60					0.80								10.08													10.08
69	既設M72-1-1 M69-1	45.10	90.20				1.00	45.10		4.51				40.59												45.10		
計		100.20	112.20	0.00	0.00	0.00		53.90	0.00	5.39	0.00	0.00	0.00	40.59	10.08	25.20	0.00	0.00	8.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	53.90	0.00	35.28

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番 号	マンホール 種 別	平均 掘削深	人孔間 距 離	マンホール 控除長	管体 延長					
							マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バンドタイプ	貼付タイプ			
	下流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
62	+22.25	プラス点									
	M62-4	塩ビ MH	1.095	16.00	0.20	15.80					
65	M66-2	塩ビ MH									
	+11.00	プラス点	1.265	11.00	0.20	10.80					
65	+11.00	プラス点									
	M65-1	塩ビ MH	1.320	2.90	0.20	2.70					
64	M65-1	塩ビ MH									
	M64-1	塩ビ MH	1.170	12.60	0.40	12.20					
64	M64-1	塩ビ MH									
	M64-2	塩ビ MH	1.085	12.60	0.40	12.20					
69	既設M72-1-1	既設 A1号 MH						1			
	M69-1	A1号 MH	1.840	45.10	0.90	44.20	1				1
計				100.20	2.30	97.90	1	1			1

管路土留工数量計算表（本管リブφ150mm用）

No. 1

路線 番号	マンホール 種 別	区間 距離	掘 削 深	平 掘 均 削 深	掘 削 幅	軽量鋼矢板建込・引抜工						軽量鋼矢板						軽量金属製支保工								
																		1 段			2 段			3 段		
						H=1.5m以下	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=3.8m以下	L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=
下流側（上段）	上流側（下段）	m	m	m	m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
	+22.25		1.030																							
62	M62-4	16.00	1.160	1.095	0.80																					
	M66-2		1.220																							
65	+11.00	11.00	1.310	1.265	0.80																					
	+11.00		1.310																							
65	M65-1	2.90	1.330	1.320	0.80																					
	M65-1		1.280																							
64	M64-1	12.60	1.060	1.170	0.80																					
	M64-1		1.060																							
64	M64-2	12.60	1.110	1.085	0.80																					
	既設M72-1-1		1.600																							
69	M69-1	45.10	2.080	1.840	0.90		45.10							45.10				45.10								
計		100.20					45.10							45.10				45.10								

組立A 1 号人孔材料表

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			削 孔 数	人孔ブロック（足掛金物付）																				底 版	副 管										
		管底高	管 種 管 径		管 径	管底高	落 差		蓋		調整 高	調整リング			床版 斜壁	斜壁		直壁										管取付壁 底版付												
									T-25	T-14		5	10	15		15	45	60	30	60	90							60			90									
									下段:梯子付																															
69路線より		m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個										個	個							個	個
M69-1	9.280	7.307	PRP 150	1.973					1	1		33	1					1				1									1									
計									1	1		33	1					1													1									

A 1 号マンホール底部工数量計算表

No. 1

総マンホール数		1 箇所		平均管内径 150 mm		
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.033	袋 0.825	袋 0.825
割砕基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.175	1	0.175	m ² 0.18
インバート コンクリート	モルタル上塗り量	—○	0.474	1	0.474	上塗り量
	コンクリート量		0.095	1	0.095	
	モルタル上塗り量	—○—	0.506			m ²
	コンクリート量		0.091			
	モルタル上塗り量	—○—	0.538			コンクリート量
	コンクリート量		0.087			
	モルタル上塗り量	—○—	0.570			m ³
	コンクリート量		0.082			

塩ビ製小口径マンホール材料計算表 (本管 φ 150mm用)

No. 1

人 孔 番 号	計 画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			マンホール蓋 (台座付)及び 沈下防止板 φ 3 0 0		インバート					自在継手 15°	落差 インバート用 支管	下水 キャップ φ 150
		管底高	管種 管径		管径	管底高	落差	T-25 組	T-14 組	ス ト レ ー ト 起 点	ス ト レ ー ト 中 間	曲点 L	合流	落差 立管一体型			
62路線より M62-4	14.360	13.305	PRP 150	1.055				1			1						
65路線より M65-1	9.290	8.059	PRP 150	1.231	150	8.109	5.0	1					1			1	
64路線より M64-1	9.100	8.147	PRP 150	0.953	150	8.147	0	1			1				1		
64路線より M64-2	9.330	8.323	PRP 150	1.007				1		1							
65路線より M66-2																1	
計									4			3		1	1	2	

内副管工総括表（本管φ150mm用）

1.0式

形状寸法	工 種	細 目	計 算 式	数 量	単 位
別紙図面参照	内副管工(1)	既設M72-1-1	TA200 点検孔付	落差	
			=	0.614	1.000 個
			TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50		
			=((7.172 - 6.558)-(0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 -))/ 0.500 = 0.678	1.000	個
	内副管工(2)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(3)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(4)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(5)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(6)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(7)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(8)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(9)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	内副管工(10)		直管延長=(流入高 - 流出高)- 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差	直管延長	
			= (-)- - - -		m
		路線より	布設延長= 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2	布設延長	
			= (+ + ×		m
	バツフル	TA200	点検孔付	1.000	個
	〃	TB200		1.000	個
	直管布設延長	φ100	+ + + + + + + + + + =	L=	m
	副管用90°支管	φ100			個
	カラー	φ100	+ + + + + + + + + + =		個
	副管固定金具	φ100用	+ + + + + + + + + + =		個
	90°曲管	φ100			個
	ブレンエンド直管	φ100	+ + + + + + + + + +)/4m/本=		本
	下水キャップ	φ100			個

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

市单独工事

No. 1

[illegible]

汚水枥設置及び取付管工数量計算表

市单独工事

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	掘 削 幅	埋戻し（上段:素掘 下段:矢板）										
	上流側（下段）		砂基礎					埋戻土(RC-40)					流用土
	マンホール番号		深さ	機械			人力	深さ	機械			人力	人力
				BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		(道路部)	BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45		
		m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
62	M62-4	0. 70	0. 314		0. 84		0. 21			1. 39			0. 41
	M62-4				0. 496								
64	M64-2	0. 70	0. 314		0. 21		0. 21			0. 33			0. 41
	M64-2				0. 471								
69	M69-1	0. 70	0. 314										
	M69-1			0. 63	0. 21	1. 146	2. 41			1. 04			
計				0. 00	1. 05	0. 00	0. 42		0. 00	1. 72	0. 00	0. 00	0. 82
				0. 00	0. 63	0. 00	0. 21		0. 00	2. 41	0. 00	0. 00	1. 04
				0. 00	1. 68	0. 00	0. 63		0. 00	4. 13	0. 00	0. 00	1. 86

汚水枳設置及び取付管工数量計算表

市单独工事

No. 3

[illegible]

舗装工面積計算書（単独）

No. 1 / 2

インターロッキングブロック 62路線・65路線・64路線・69路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (㎡)	備 考
62路線				
自: No. 5 + 5.50 至: No. 6	14.50	2.30 2.40	34.1	
自: No. 6 至: No. 6 + 1.50	1.50	2.40 2.50	3.7	
65路線・64路線				
自: No. 0 至: No. 0 + 12.50	12.50	1.50 1.50	18.8	
自: No. 0 + 12.50 至: No. 1	7.50	1.50 1.50	11.3	
自: No. 1 至: No. 1 + 4.00	4.00	1.50 1.70	6.4	
69路線(取付管⑥)				
自: No. 0 至: No. 0 + 1.40	1.40	1.95 1.95	2.7	
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小 計	41.40		77.0	

カラー舗装 62路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (㎡)	備 考
自: No. 0 至: No. 1	20.00	6.00 6.00	120.0	
自: No. 1 至: No. 1 + 8.00	8.00	6.00 6.00	48.0	
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小 計	28.00		168.0	

舗装工面積計算書（単独）

No. 2 / 2

切削オーバーレイ 県道部 69路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
自: No. 0 + 6.00 至: No. 1	14.00	4.25 4.25	59.5	
自: No. 1 至: No. 2	20.00	4.25 4.00	82.5	
自: No. 2 至: No. 2 + 17.00	17.00	4.00 3.90	67.2	
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	51.00		209.2	

切削オーバーレイ 市道部(河辺町賛崎線) 65路線・62路線

測 点	距 離 (m)	幅 (m)	面 積 (m ²)	備 考
65路線				
自: No. 0	20.00	9.20	184.0	
至: No. 1		9.20		
自: No. 1	8.00	9.20	73.6	
至: No. 1 + 8.00		9.20		
62路線				
自: No. 0	5.00	8.50	46.9	
至: No. 0 + 5.00		10.25		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	33.00		304.5	

単 位 数 量 計 算 書

細別	継手類		1.0式	細別	組立A1号マンホール		1.0式
規格	PRP150		当り	規格			当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
リブゴム可とうマンホール継手	150(拡張バンドタイプ) 1.00	個	1.0	組立マンホール設置工	2m以下 1.00	箇所	1.0
リブゴム可とうマンホール継手	150(貼付タイプ) 1.00	個	1.0	無収縮早強性モルタル	25.0kg 0.83	袋	0.8
				再生クラッシャーラン	RC-40 0.18	m3	0.2
				コンクリート	18-8-40(BB) 0.10	m3	0.1
				モルタル上塗	1:2 0.47	m2	0.5
				A1号マンホール	削孔 VUφ100 1.00	箇所	1.0
				人孔鉄蓋及び受枠	φ600 T-25 1.00	組	1.0
				マンホール調整リング	φ600 50mm 1.00	個	1.0
				A1号マンホール	斜壁 600×600/900×450 1.00	個	1.0
				A1号マンホール	直壁 600/900×600 1.00	個	1.0
				A1号マンホール	管取付壁(底版付) 600/900×900 1.00	個	1.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	内副管			1.0式	細別	小型マンホール			1.0式
規格	飛散防止板			当り	規格	塩化ビニル製			当り
名称	算式	単位	数量		名称	算式	単位	数量	
内副管取付工	段差 1.0m未満 既設M72-1-1	1.00	箇所	1.0	小型マンホール工	起点中間形式 2.0m以下	3.00	箇所	3.0
バツフル	TA200 点検孔付 既設M72-1-1	1.00	個	1.0	小型マンホール工	起点落差形式 2.0m以下	1.00	箇所	1.0
バツフル	TB200 既設M72-1-1	1.00	個	1.0	リブ用本管自在継手	φ150	1.00	個	1.0
					落差インポート用支管	300-150	2.00	個	2.0
					人孔鉄蓋及び受枠	T-14 φ300	4.00	組	4.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	試掘調査			1.0箇所
規格	インターロッキング部 W=1.5m L=1.5m H=1.2m			当り
インターロッキング ブロック撤去	1.50 × 1.50	= 2.25	m2	2.3
掘削(機械)	1.50 × 1.50 × 0.84	= 1.89	m3	1.9
掘削(人力)	1.50 × 1.50 × 0.30	= 0.68	m3	0.7
埋戻し (流用土)	1.50 × 1.50 × 1.17	= 2.63	m3	2.6
RC-40	(2.63 - 2.57 × 0.90) × 1.20	= 0.39	m3	0.4
表層 t=3cm	1.50 × 1.50	= 2.25	m2	2.3
細別	試掘調査			1.0箇所
規格	県道部 W=1.5m L=1.5m H=1.5m			当り
舗装版切断	1.50 × 4	= 6.00	m	6.0
舗装版破碎	1.50 × 1.50	= 2.25	m2	2.3
殻運搬	2.25 × 0.10	= 0.23	m3	0.2
殻処分		0.23	m3	0.2
掘削(機械)	1.50 × 1.50 × 1.10	= 2.48	m3	2.5
掘削(人力)	1.50 × 1.50 × 0.30	= 0.68	m3	0.7
埋戻し (RC-40)	1.50 × 1.50 × 1.45	= 3.26	m3	3.3
土砂等運搬(機械)	1.50 × 1.50 × 1.10	= 2.48	m3	2.5
土砂等運搬(人力)	1.50 × 1.50 × 0.30	= 0.68	m3	0.7
表層 t=5cm	1.50 × 1.50	= 2.25	m2	2.3

単 位 数 量 計 算 書

細別	家屋調査費			1.0式			
規格				当り			
名称	算式	単位	数量				
工作物 (事前調査)	100m2未満	箇所	2.0				
諸経費等・その他原価・一般管理費等		式	1.0				

特記仕様書（共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	☒ 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。 ☒ 本工事は津市契約規則、津市建設工事執行規則、津市建設工事執行に関する要綱及び監督員の指示により執行する。 ☒ 「施工プロセス」のチェックリストにより、仕様書、契約書等に基づき、施工・手続き等が適切に行われているかを監督員と共有し確認すること。
	施工計画	☒ 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 ☒ 作業主任者等の選任を必要とする作業においては、必要な資格者一覧を施工計画書に記載するとともに、その資格者証の写しを添付し提出するものとする。 ☒ 工事中の安全確保については、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業者など）の一覧を施工計画書に記載するとともに、その資格者証の写しを添付し提出するものとする。
	施工体制台帳	☒ 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを書面で監督員に提出すること。
	工事測量	☒ 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に書面にて報告するものとする。 ☐ 工事測量については、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-38工事測量」に基づき行うものとし、工事区間内の境界等については、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、管理を行うこと。また、調査資料の写しを監督員へ1部提出するものとする。
	施工	☒ 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 ☒ 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 ☐ 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
	工程	☒ 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
工程	関係機関協議	☒ 受注者は、施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、監督員と協議を行い、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 ☒ 試掘調査を行う場合は、事前に各管理者と調整を行い、地下埋設物の確認については各管理者と監督員の立会のもと、実施するものとする。 ☒ 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って受注者の責任において三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に基づき、地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、監督員に調査資料の写しを提出するとともに、各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。 ☒ 地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合は、受注者の責任において三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に基づき対応するものとし、緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。 ☐ その他（ ）
	官公庁への手続き等	☒ 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事中において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（共通編）

No.2

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
用地・補償関係	事業損失	☒ 設計書に明示した箇所の事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 ☒ 家屋調査については、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、調査に従事するもの（補助者を除く）として、建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士に定める資格を有するものをあてるものとする。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有するものと認めたものについては、これをもって足りる。身分証明書交付については身分証明書交付願を契約締結後速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後家屋調査にかかるものとする。 ☒ 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。三重県公共工事共通仕様書1-1-1-30 事故報告書「発注者への報告」に基づき、補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。
	民地の保全	☐ 受注者は施工前に現地を確認し、官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鋸、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 ☒ 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、受注者の責任において工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。
安全対策	工事中の安全確保	☒ 受注者は、施工箇所が通学路であった場合は、監督員と協議を行った上で、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 ☒ 周辺の交通状況を考慮して、資機材の搬出入等は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 ☒ 工事施工時は地山掘削・床掘等の際に既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。 また、施工時に影響が及ぶ可能性があると考えられる場合には、事前調査を行い、写真を撮っておくなど適切な処置を講じるものとする。 ☒ 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 ☒ 工種（全工種）について、施工日の即日開放を原則とする。 ☒ 工種（区画線工）について、事前に（津警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 ☒ 現場において設置する保安施設や仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員が求めた際には提示すること。 ☒ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	交通安全管理	☒ 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとし、設計図書に基づき事前に監督員と協議を行うものとする。 ☒ 交通誘導警備員は、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-33交通安全管理」に基づき配置するものとする。交通誘導警備員のうち1人有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかわる1級又は2級検定合格者）または、有資格者の配置ができない場合は監督員の承諾を得て交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 ☒ 受注者は、交通誘導警備員を配置する際は、その警備会社と雇用期間中など労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事中において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（共通編）

No.3

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	☒ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 ☐ 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。 ☒ 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。 ☒ 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	☒ 三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に関する書類については、監督員が指示した場合、提示又は提出するものとする。 ☒ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4） ☒ 工事完成報告書の提出部数は2部とする。様式については津市ホームページに掲載のものとする。 ☒ 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 なお、提出の際は使用材料一覧表に使用する材料を記載し、インデックス等で整理して材料の品質証明書を添付するものとする。 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
	部分下請負通知書	☒ 受注者は、工事の一部分において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	☒ 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（共通編）

No.4

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
その他	名札	☒ 受注者は、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-10 施工体制台帳」に基づき、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。 <名札の例> 写 真 2cm×3cm 程度 主任・監理技術者 氏 名 ○○ ○○ 工事名 ○○○○工事 工 期 自○○年○○月○○日 会 社 ○○建設株式会社 印 注１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注２）所属会社の社印とする。
	部分使用	☐ 部分使用箇所（ ） ☐ 部分使用時期（ ） ☐ 部分使用目的（ ）
	部分引渡し	☐ 部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ） ☐ 部分引渡し時期（ ）
	巡回	☒ 当工事(修繕)は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。
	その他	☐

(注) 上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特 記 仕 様 書 （下水道工事共通編）

No.5

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
補償関係	事業損失	☒ 家屋調査については、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、調査に従事するもの（補助者を除く）として、建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士に定める資格を有するものをあてるものとする。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有するものと認めたものについては、これをもって足りる。身分証明書交付願を契約締結後速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後家屋調査にかかるものとする。 ☐ ウェルポイント工の施工前に設計図書に明示された事前調査を行うこと。また、現場周辺に使用中の井戸がないか調査を行い、井戸涸れ等、水位の変化に細心の注意を払うものとする。
工事施工関係	施工管理	☒ 開削埋戻しの現場の品質管理については、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書品質管理基準及び規格値の道路土工）によるものとする。試験は、延長100m毎に管理することとし、試験位置については埋戻し深の1/2程度の位置とし、試験頻度は1回（3試料）以上とする。また、試料採取位置については、測定位置付近で縦断方向に3試料を測定することとする。費用は受注者の負担とする。 ☐ 立坑埋戻しの現場の品質管理については、埋戻し深が5m未満の立坑の試験位置は、埋戻し深の1/2程度の位置及び埋戻し天端の2箇所とする。試験頻度は1回（3試料）以上とする。埋戻し深が5m以上の立坑の試験位置は、概ね均等な間隔となるよう設定する。試験頻度は3mにつき1回（3試料）以上とする。費用は受注者の負担とする。
	工事材料	☒ 砂基礎材の規格については、最大粒径20mm以下、且つ0.075mmふるい通過質量百分率0～20%以下とする。 ☐ 埋戻し材料については、設計図書で明示する試験を行い、その結果を監督員に提出した上で、現地発生土が埋戻し材料に適していると判断された場合は、流用土に変更するものとする。
	公共樹	☒ 受注者は、公共樹を設置する工事がある場合は、申請者、又は使用者の承諾を得て工事に着手するものとし、施工条件、深さ等を考慮し適切に施工すること。 ☒ 本工事において設置する各宅地等の公共樹について、原則として公共樹設置位置申請書等に基づき設置するものとする。なお、施工前に必ず申請者に設置位置等を再度確認し、施工するものとする。 ☒ 設置位置等について設置箇所の申請者より変更希望があった場合は、監督員に報告し指示を受けるものとする。 ☒ やむを得ず管止めとなる場合は、施工前に監督員と協議し、申請者に説明したのちに施工すること。また、現地に管止めの位置がわかるようにピン等で表示するとともに、指定の資料及び写真（管止め調書）を監督員に提出するものとする。 ☒ 公共樹設置位置申請書等については、取扱いに十分注意し、みだりに他人に知らせたり、不当な目的に使用してはならない。また、工事終了後速やかに津市に返却または引き渡すものとする。
	その他	☐ 本工事の工期については、本工事に伴う占用物件の移設工事を含めた期間であるため、着手前に関係機関と十分協議を行い、工事進捗の円滑化を図るものとする。
資料作成	提出書類	☒ 管渠敷設後は、テレビカメラにて管内を確認し成果品をDVD-Rにて提出すること。なお、漏水等を発見した場合は、速やかに監督員に報告し、適切に処置するものとする。
その他	その他	☒ 現場条件により土留工が必要な場合は監督員と協議を行うこと。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 程 関 係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名：)	☐ 調整項目 (☐ 資材等の流用 ☐ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整 ☐ 施工順序の調整 ☐ その他 () ☐ 別途協議)
	☐ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☐ 制限する工種名 () 施工時期及び施工時間 () 施工方法 ()
	☐ 工期	☐ 工期は、繰越手続きが完了後、(年 日) までに変更します。
	☐ 他機関との協議が未完了	☐ 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 ()
	☐ 占用物件との工程調整の必要あり	☐ 占用物件名 (☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他 ())
	☒ その他 (施工体制)	☒ その他 (管きょ工及び取付管およびます工は、2班体制で施工すること)
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり	☐ 未処理箇所 (☐ 別添図等 ☐ No. ～No. ☐ 別途協議) ☐ 完了見込み時期 (☐ 令和 年 月頃 ☐ 別途協議)
	☐ 仮設ヤードの有無	☐ 仮設ヤード (☐ 官有地 ☐ 民有地 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 仮設ヤード使用期間 () ☐ 仮設ヤードからの運搬距離 (L = km) ☐ 使用条件・復旧方法 ()
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり	☐ 制限項目 (☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他 ()) ☐ 施工方法等 (☐ 指定工法名 () ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 施工時期 ()
	☒ 事業損失防止に関する調査あり	☒ 調査項目 (☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☒ 近接家屋の事前・事後調査 ☐ 地盤沈下測定 ☐ 地下水位等の測定 ☒ その他 (試掘調査) ☐ 別途協議) ☒ 調査方法 (☐ 別途資料 ☐ その他 () ☒ 別途協議)
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
安全対策関係	☐ 交通安全施設等の指定あり	☒ 交通安全施設等の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☒ 別途協議) ☒ 交通誘導警備員の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☒ 別途協議) ☐ 指定路線 ☒ 指定路線以外 ☒ 交通誘導警備員の配置人員数 ☒ 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 0 人 B： 464 人 (注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。) ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 ☐ 積上げによる算出 配置人員数 (人) (うち交通誘導警備員A (人)) (注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。) ☒ 交通誘導警備員の配置時間 (別途協議) ☒ 交通誘導警備員の配置期間 (別途協議) ☒ 交通誘導警備員配置の対象工種 (別途協議)

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.7

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☒ 近接施設等に対する制限	☒ 既存施設あり ・近接公共施設 （ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☒ 電話 ☒ 水道 ☒ ガス ☐ その他（ ）） ・近接施設 （ ☐ 擁壁（ ） ☒ ブロック塀 ☐ 家屋 ☐ その他（ ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ・制限を受ける工種 （ ） ・制限内容 （ ）
	☐ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	☐ 安全防護施設等の配置 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 保安要員の配置 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）
	☒ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたいうで、工事を実施すること。
	☒ 事故速報の提出	☒ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり ☐ 仮設道路の設置条件あり	☐ 経路及び使用期間の制限内容 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 使用中及び使用後の措置 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 用地及び構造 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 安全施設 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
仮設備関係	☐ 仮設備の設置条件あり	☐ 使用期間及び借地条件 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 転用あり（ 回） ☐ 兼用あり（ ） ☐ その他（ ）
	☐ 水替工（締切排水工）	☐ 施工条件の指定なし ☐ 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 ☐ その他（ ）
	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件 （ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 施工方法（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.8

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設発生土・ 産業廃棄物関係	☐ 建設発生土受入地の指定あり	☐ 受入地の条件（ ☐ 別途図面 ☐ 運搬距離（L＝ km） ☐ 受入料金あり ☐ 受入料金なし ☐ 別途協議 ☐ その他（ ））
	☒ 建設発生土受入地未定	☒ 受入地未定につき別途協議する。（ ☒ 暫定運搬距離L＝ 8 km、 ☐ その他（ ））
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	☒ 産業廃棄物の種類（ ☐ コン塊 ☒ アス塊 ☐ 木材 ☐ 汚泥 ☐ その他（ ）） ☒ 産業廃棄物の処分地（ ☒ 再生処分場（ ） ☐ 最終処分場（ ） ☐ 別添図書 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件（ ） ☒ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工 事 支 障 物 件 関 係	☐ 工事支障物件あり	☐ 支障物件名（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 有線 ☐ その他（ ）） ☐ 移設時期（ ☐ 令和 年 月 頃 ☐ 別途協議） ☐ 防護（ ）
	☐ その他	☐ その他（ ）
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） ☐ 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ）
	☐ 提出書類あり	☐ 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
再生材使用関係	☒ 再生材使用の指定あり	☒ 再生材の種類（ ☒ 再生Asコン ☒ 再生路盤材 ☒ 再生クラッシャーラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂 ） ☒ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☐ 新材に変更 ☐ その他（ ） ☒ 別途協議（ ））
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく 認定製品の使用について	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名： ☐ 盛土材 ☒ 埋戻し材 ☐ サンドクッション材 ☒ 上層路盤材 ☐ コンクリート二次製品 ☐ グレーチング ☐ その他（ ）） ☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.9

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
そ の 他	☐ 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	☐ 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）
	☐ 現場発生品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）
	☐ 支給品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ）
		時期（令和 年 月 日） その他（ ）
	☐ 盛土材等工事間流用あり	☐ 運搬方法（ ☐ 受注者で運搬 ☐ 受注者以外で運搬 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ））
		☐ 引渡場所（ ☐ 別添図等 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ））
	☐ 現場環境改善費適用工事	数量（ ） 運搬距離（L＝ km）
		☐ 現場環境改善の内容（率分）（ ）
		☐ 現場環境改善の内容（積上）（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
適 用 条 件	☒ 適用条件	☒ 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和4年7月1日）） ☒ 三重県公共工事共通仕様書 1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印が不要な手段により」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われたものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いない場合は、発行年月日を記載し、記名（署名または押印を含む）したのも有効とする。」と読み替えるものとする。 ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 ☒ 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン(平成31年3月)（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 ☐ 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示ー（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているので、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者： ☒ 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。 ☒ デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること ☒ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること ☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.10

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
監督の区分 （共通仕様書 第3編3-1-1-4 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)）	☒ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となっ た場合は、全ての工種を重点監督とする。） ☐ 重点監督	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 ☐ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
電 子 納 品	☐ 工事完成図書（工事写真含む） ☒ 電子納品対象外	☐ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、（ ☐ 2部 ☐ （ ）部）とする。 ☐ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和 4 年 7 月改訂）を適用
地質調査の 電子成果品等	☐ 地盤情報データベースの登録の必要あり	☐ 検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/）） ☐ 検定料金の計上（ ☐ A検定 ☐ B検定 ） （注：受注後、これにより難しい場合は設計変更の対象とする。）
産業廃棄物税	☒ 産業廃棄物税	☒ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日 までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を 超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	☒ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設 発生土情報交換シ ステム	☒ 建設副産物情報交換システム ☒ 建設発生土情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 ☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	☐ 下請企業の次数制限	☐ 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
特例監理技術者の 設置	☐ 特例監理技術者の設置	☐ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。
配慮依頼事項	☒ 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用 ☒ 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製 品の使用 ☒ 建設機械、機器等の借入れ ☒ 使用人等において市民の活用	☒ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等 において市内本店事業者を活用することに配慮すること。 ☒ 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮するこ と。 ☒ 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。 ☒ 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
津市公契約条例	☒ 津市公契約条例に関する特記	☒ 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場に おける合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務 所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査 その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.11

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市公契約条例		2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあつては、別紙誓約事項に違反したとき。
	☑ 労働環境の確保に係る誓約事項	☑ 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
社会保険等未加入対策	☑ 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☑ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	☑ 法定福利費を明記した標準見積書の活用	☑ 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用に努めること。 （津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）
暴力団等の不当介入の排除等	☑ 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	☑ 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。
		1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 (1) 入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.12

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	☒ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記	☒ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 5 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 6 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。
ワンデーレスポンス	☒ ワンデーレスポンスの実施	☒ 1 この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 なお、質問・協議等に当たっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。 3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。 4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.13

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設業退職金共済制度に係る事務手続き	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。 1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいですが、これにより難しい場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。 4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。 5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに「掛金充当実績総括表」を作成し、工事担当課へ提示してください。この時、掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認してください。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。 6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下、CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。
津市工事請負の地元調整	☒ 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	☒ 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生しました。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。 3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.14

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
		(3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。 4 工事説明の進め方 (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。 (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。 5 不当要求行為等 (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。 (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。
その他	☐ その他	☐ その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和4年7月